

# 資料編

## 【動物編】



## 【動物目録】

資料1 哺乳類確認種リスト

資料2 哺乳類種別確認状況

資料3 鳥類確認種リスト

資料4 ラインセンサス調査結果

資料5 ポイントセンサス調査結果

資料6 ワシタカ類定点調査結果

- ・ ミサゴ
- ・ ハチクマ
- ・ ツミ
- ・ ハイタカ
- ・ オオタカ
- ・ サシバ
- ・ ノスリ
- ・ クマタカ
- ・ チョウゲンボウ
- ・ ハヤブサ

資料7 フクロウ類調査結果

資料8 両生類・爬虫類確認種リスト

資料9 両生類・爬虫類種別確認状況

資料10 昆虫類確認種リスト

資料11 陸産貝類確認種リスト

資料12 注目すべき種予測影響評価一覧（工事による影響（建設作業））

資料13 注目すべき種予測影響評価一覧（存在・供用における影響（夜間照明等））

資料14 有識者ヒアリング結果(猛禽類調査結果)



## 資料1 哺乳類確認種リスト

現地調査で確認された哺乳類確認種リストを示す。

表. 哺乳類確認種リスト

番号	目名	科名	種名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				備考
					内	外	春季	夏季	秋季	冬季	
1	モグラ目	モグラ科	モグラ科の一種	Talpidae sp.	●	●	●	●	●		
2	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>		●	●	●		●	
3	ネズミ目	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>		●	●	●	●		
4			ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>		●	●				
5		ネズミ科	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus speciosus</i>	●	●	●	●	●	●	
6			ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus argenteus</i>		●		●			
7	ネコ目	イヌ科	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>	●	●	●	●	●	●	
8			キツネ	<i>Vulpes vulpes japonica</i>	●	●	●	●		●	
9		イタチ科	テン	<i>Martes melampus melampus</i>		●		●			
10	ウシ目	イノシシ科	イノシシ	<i>Sus scrofa leucomystax</i>		●	●				
11		ウシ科	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	●	●	●	●	●	●	特天 長野県RDB:N
合計	5目	8科	11種		5種	11種	9種	9種	5種	5種	

注1：目録は基本的に「河川水辺の国勢調査生物種目録、2012，（財団法人リバーフロントセンター）」に準拠した。

注2：備考欄

特天：「文化財保護法」(昭和25年 法律第214号)に示されている種

・特天：特別天然記念物

長野県RDB：「長野県版レッドデータブック-長野県の絶滅のおそれのある野生生物」(平成14年 長野県)の掲載種

・N：留意種

## 資料2 哺乳類種別確認状況

現地調査で確認された哺乳類の各種の確認状況を示す。

表. 哺乳類の確認状況

種名	確認状況
モグラ科の一種	全調査期間を通して調査範囲の広範囲で塚及び坑道が確認された。確認場所は主に樹林部であったが、対象事業実施区域周辺の管理されている草地周辺においても多く確認された。調査範囲周辺は本種の主要な生息環境となる森林が多くみられることから、本種の生息に適した環境であると考えられ、確認数も多いことから多数生息していると考えられる。
ノウサギ	春季及び夏季調査で調査範囲南側の樹林部で糞が確認された。調査範囲周辺はアカマツやヒノキ等の常緑針葉樹が多く、本種の主要な餌となる草本が生育する環境が少ないため、本種の生息に適した環境は少ないと考えられる。確認数も少なく、調査範囲の南側のみの確認であることから、調査範囲周辺は本種の生息域の中心にはなっていないと考えられる。
ニホンリス	全調査期間を通して調査範囲広範囲の樹林部において個体が目撃された。調査範囲周辺は本種の主要な餌となるアカマツやカラマツ等が豊富に生育していることから本種の生息に適した環境であると考えられる。また、確認回数も多いことから、調査範囲周辺に多数生息していると考えられる。
ムササビ	春季調査で調査範囲西側の樹林部で食痕が確認された。調査範囲周辺は本種の主要な餌となるアカマツやカラマツ等が豊富に生育していることから、本種の生息に適した環境であると考えられるが、本調査では1箇所のみでの確認であった。対象事業実施区域周辺は県道により樹林が分断されているため、本種の生息域の中心にはなっていないものと考えられる。
アカネズミ	全調査期間を通して調査範囲広範囲の樹林部においてトラップ調査により捕獲された。調査範囲周辺は本種の主要な餌となるアカマツやカラマツ等が豊富に生育していることから本種の生息に適した環境であると考えられる。また、捕獲数も多いことから、調査範囲周辺に多数生息していると考えられる。対象事業実施区域内においても南西側のカラマツ林で多数捕獲された。
ヒメネズミ	夏季調査で調査範囲西側のアカマツ林においてトラップ調査により1個体確認された。捕獲数が少ないことから、調査範囲周辺ではアカネズミほど多くは生息していないと考えられる。
タヌキ	全期間を通して調査範囲広範囲の樹林部で個体の目撃、無人撮影による確認、糞が確認された。調査範囲内は本種の主要な餌場となる耕作地や人家等がないため、主にねぐらとして利用していると考えられる。また、確認数も多く、複数個体確認されていることから、常時調査範囲周辺に生息している家族群がいると考えられる。対象事業実施区域内においても南西側の林縁部で個体が確認された。
キツネ	春季調査でやまびこ公園内の樹林、夏季調査で事業地南側尾根の樹林において無人撮影により個体が確認された。確認数が少ないため、調査範囲周辺の生息状況の詳細は不明であるが、調査範囲周辺では本種の主要な餌となるネズミ類が多く確認されており、本種の生息に適した環境であると考えられる。
テン	夏季調査で調査範囲南西側のアカマツ林内において糞が確認された。確認数が少ないため、調査範囲周辺での生息状況の詳細は不明であるが、調査範囲周辺は本種の主要な餌となるネズミ類が多く確認されており、本種の生息に適した環境であると考えられる。
イノシシ	春季調査で調査範囲南側のカラマツ林内において糞が確認された。調査範囲周辺は林床植生の貧弱な針葉樹林が多く、本種の主要な餌場となる落葉広葉樹林や耕作地が少ないことから、本種の生息には適していないと考えられる。また、確認数も少なく掘り返し等の痕跡も見られないことから、調査範囲周辺での生息数は少ないものと考えられる。
カモシカ	全調査期間を通して調査範囲広範囲の樹林部において個体の目撃や糞が確認された。目撃例は多いものの、糞は多く確認されていないことから、調査範囲周辺での生息数は多くないと考えられるが、常時調査範囲周辺に生息している個体がいるものと考えられる。事業区域内においても南西側のカラマツ林内において個体が目撃された。

資料3 鳥類確認種リスト

現地調査で確認された鳥類確認種リストを示す。

表. 鳥類確認種リスト (1/2)

番号	目名	科名	種名	学名	対象事業実施区域		ライン・スポット等				ワシタカ・フクロウ調査				備考					
					内	外		春季	繁殖期	夏季	秋季	冬季	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月
						~200m	~1km													
1	キジ目	キジ科	ヤマドリ	<i>Sylvaticus soemmerringii</i>	●		●			●										
2	カモ目	カモ科	オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	●															
3	ハト目	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	●	●	●	●	●											
4			アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	●	●		●	●	●									長野県RDB:NT	
5	カツオドリ目	ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	●	●	●	●												
6	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	●			●												
7			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	●	●			●											
8	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Hierococyx hyperythrus</i>	●			●												
9			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	●			●	●											
10			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	●			●												
11	アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>	●					●								長野県RDB:NT		
12			アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	●			●	●											
13	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	●	●	●					●					●	環境省RL:NT 長野県RDB:N		
14		タカ科	ハチクマ	<i>Fernis ptilorhynchus</i>	●	●	●							●	●	●	●	●	環境省RL:NT 長野県RDB:VU	
15			トビ	<i>Milvus migrans</i>	●	●		●	●	●	●									
16			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	●	●	●			●	●			●					● 長野県RDB:DD	
17			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	●	●	●						●	●	●	●			● 環境省RL:NT 長野県RDB:VU	
18			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	●	●	●						●	●					● 環境省RL:NT 長野県RDB:VU	
19			サシバ	<i>Butastur indicus</i>	●	●	●			●			●	●					● 環境省RL:VU 長野県RDB:VU	
20			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	● 長野県RDB:NT
21			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>			●							●						種の保存法:国内 環境省RL:EN 長野県RDB:EN
22			フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	●	●						●	●	●			●	● 長野県RDB:NT
23	キツツキ目		キツツキ科	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	●	●		●	●	●	●								
24		アカゲラ		<i>Dendrocopos major</i>	●	●		●	●	●	●									
25		アオゲラ		<i>Picus awokera</i>		●				●										
26	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>			●						●					● 長野県RDB:N		
27			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	●	●	●					●	●		●	●	●	●	種の保存法:国内 環境省RL:VU 長野県RDB:N	
28	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	●			●	●									● 環境省RL:VU 長野県RDB:VU		
29		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	●			●											● 長野県RDB:VU	
30		モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>		●			●	●										
31		カラス科	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	●	●		●	●	●	●									
32			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	●	●			●			●								
33			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	●	●		●	●	●	●									
34		クイタダキ科	クイタダキ	<i>Regulus regulus</i>		●			●			●								
35		シジュウカラ科	コガラ	<i>Poecile montanus</i>	●	●		●	●			●								
36			ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	●	●		●	●	●	●									
37			ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	●	●		●	●	●	●									
38			シジュウカラ	<i>Parus major</i>	●	●		●	●	●	●									
39		ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	●	●			●	●	●									
40			イワツバメ	<i>Delichon urbica</i>	●	●			●	●	●									
41		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	●	●			●	●	●	●								
42		ウグイス科	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	●	●			●	●	●	●								
43			ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>		●			●	●	●	●								
44	エナガ科		エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	●	●			●	●	●	●								

表. 鳥類確認種リスト (2/2)

番号	目名	科名	種名	学名	対象事業実施区域		ライン・スポット等					ワシタカ・フクロウ調査								備考		
					内	外	春 季	繁 殖 期	夏 季	秋 季	冬 季	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月				
																			~200 m		~1 km	
45	スズメ目	ムシクイ科	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>	●		●															
46			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	●		●	●														
47		メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	●	●		●	●	●	●											
48		ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	●	●			●													
49			コムドリ	<i>Agropsar philippensis</i>	●	●			●	●												
50		ヒタキ科	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>		●			●	●	●											
51			アカハラ	<i>Turdus chrysolau</i>	●	●			●			●										
52			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>		●										●						
53			コルリ	<i>Luscinia cyane</i>		●				●	●											
54			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>		●							●	●								
55			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>		●											●					
56			サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>		●											●					
57			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>		●				●												
58			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>		●				●	●	●										
59			スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>	●				●												
60		セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	●	●			●	●	●											
61			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	●	●					●	●										
62			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	●	●				●												
63		アトリ科	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	●	●			●	●	●	●	●									
64			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>		●							●									
65	ウソ		<i>Pyrrhula pyrrhula</i>		●										●							
66	イカル		<i>Eophona personata</i>	●	●				●	●	●	●	●									
67	ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	●	●			●	●	●	●	●										
68		ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>	●	●			●	●	●											環境省RL:NT 長野県RDB:NT	
69		アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>		●				●													
70		クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>		●											●						
合計	12目	30科	70種	39種	67種	11種	33種	36種	36種	30種	24種	5種	7種	5種	6種	3種	4種	8種				
					69種																	

注1：目録は基本的に「日本鳥類目録 改訂第7版、2012、(日本鳥類学会)」に準拠した。

注2：備考欄

種の保存法:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」  
(平成4年 法律第75号)に示されている種

・国内：国内希少野生動植物

環境省 RL:「環境省レッドリスト」(平成24年 環境省)の掲載種

・EN：絶滅危惧1B類 ・VU：絶滅危惧II類 ・NT：準絶滅危惧

長野県 RDB:「長野県版レッドデータブック-長野県の絶滅のおそれのある野生生物」(平成14年 長野県)の掲載種

・EN：絶滅危惧1B類 ・VU：絶滅危惧II類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・N：留意種

#### 資料4 ラインセンス調査結果

現地調査（ラインセンス調査）で確認された鳥類の確認状況を示す。

表. ラインセンス調査結果

番号	種名	春季		繁殖期		夏季		秋季		冬季	
		出現回数(回)	出現個体数(羽)								
1	ヤマドリ									1	1
2	キジバト			2	2	3	3	2	2		
3	アオバト			2	3	1	4				
4	ホトトギス			1	1						
5	トビ					1	1				
6	ツミ							1	1		
7	ノスリ					1	1				
8	コゲラ	1	2	3	3	4	4	2	3	2	2
9	アカゲラ	2	2	4	5	2	2	2	2		
10	アオゲラ					1	1				
11	サンショウクイ					2	3				
12	カケス	1	1			2	4	5	15	2	2
13	ハシボソガラス			1	1						
14	ハシブトガラス	2	2	4	6	1	1	1	2	2	2
15	クイタダキ	1	1								
16	コガラ			1	4					3	6
17	ヤマガラ	5	5	5	5	3	8	2	10	3	6
18	ヒガラ	3	3	5	12	5	11			5	19
19	シジュウカラ	10	12	9	11	11	32	7	29	3	10
20	ツバメ					2	3				
21	イワツバメ			1	5	1	1				
22	ヒヨドリ	8	10	6	11	5	8	6	16	1	1
23	ウグイス	1	1	7	7	6	6	2	2		
24	ヤブサメ	3	3					1	1		
25	エナガ	2	8			2	9	3	34	1	5
26	センダイムシクイ	4	4								
27	メジロ	2	7	2	4	5	12	3	10	1	3
28	ムクドリ					3	188				
29	コムクドリ			3	20	3	82				
30	クロツグミ			2	2	1	1				
31	アカハラ	1	1					1	1		
32	ツグミ									2	2
33	コルリ	1	1								
34	ルリビタキ									1	1
35	アオジ			1	1					1	1
36	イカル	1	1					1	2	1	3
37	カワラヒフ	3	7	1	3	2	4	1	1		
38	キセキレイ			2	2	2	2				
39	キビタキ	5	5	4	4	2	4				
40	コサメビタキ	1	1								
41	スズメ	1	1								
42	ノジコ	1	2	1	1	1	1				
43	ハクセキレイ							1	2		
44	ホオジロ	7	7	16	18	15	20	3	9	2	5
45	マヒワ							1	2		
合計		66	87	83	131	87	416	45	144	31	69
種数		23種		23種		27種		19種		16種	

## 資料5 ポイントセンサス調査結果

現地調査（ポイントセンサス調査）で確認された鳥類の確認状況を示す。

表. ポイントセンサス調査結果

番号	種名	地点及び環境					
		PS.1	PS.2	PS.3	PS.4	PS.5	PS.6
		暗い樹林 (ヒノキ若齢林)	管理された アカマツ林	管理された カラマツ林	カラマツ林	アカマツ林	樹林内 の草地
1	キジバト	2	1		1	2	
2	ホトトギス				1	1	
3	トビ	1	1	13		2	
4	ツミ			1			
5	コゲラ	5		1	3	1	2
6	アカゲラ		3		1	1	4
7	アオゲラ	1					
8	サンショウクイ	1					
9	サンコウチョウ	1					
10	モズ				2		
11	カケス	1	5	3		2	4
12	ハシブトガラス	5		4	2	2	1
13	キクイタダキ						1
14	コガラ	1				2	4
15	ヤマガラ	6	4	5	2	4	4
16	ヒガラ		19	11	10	6	5
17	シジュウカラ	18	11	10	10	10	7
18	ツバメ		1			2	
19	ヒヨドリ	6	5	6	1	6	6
20	ウグイス		2		5	1	2
21	ヤブサメ			1			
22	エナガ	14	12	14	28	7	
23	センダイムシクイ			1	1		
24	メジロ	11		3	7		3
25	ムクドリ	24					10
26	コムクドリ						6
27	コルリ					1	1
28	キビタキ	2	1	1	2	1	1
29	キセキレイ	3		1	2		
30	ハクセキレイ			2			
31	カワラヒワ	3	7	1	7		
32	イカル				3	3	
33	ホオジロ	7	2	12	5	7	3
34	ノジコ			1			2
35	アオジ						1
合計	個体数	112 個体	74 個体	91 個体	93 個体	61 個体	67 個体
	種数	19種	14種	19種	19種	19種	19種

資料6 ワシタカ類定点調査結果

ワシタカ類定点調査で確認された各種の確認状況を示す。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ミサゴ）(1/7)

ミサゴ確認結果

平成24年2月調査

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	2月	2月はミサゴの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ミサゴ）(2/7)

ミサゴ確認結果

平成24年3月調査

調査定点(A,B)

3月26日(月) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

3月27日(火) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

3月28日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(曇時々雪)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	3月27日	8:19 ~ 20秒	不明	不明												対象事業実施区域の南部上空を南西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。			

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ミサゴ）(3/7)

ミサゴ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	4月	4月はミサゴの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ミサゴ）(4/7)

ミサゴ確認結果

平成24年5月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	5月	5月はミサゴの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ミサゴ）（5/7）

ミサゴ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)		行動特性														行動の内容				
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み		飛び出し	威嚇	被威嚇	その他
		発見～逸失	発見～逸失					威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	6月	6月はミサゴの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ミサゴ）（6/7）

ミサゴ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)

7月25日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

7月26日(木) 調査時間(5:00-13:00) 天候(晴)

7月27日(金) 調査時間(5:00-13:00) 天候(晴)

調査定点(A,B)		行動特性														行動の内容				
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み		飛び出し	威嚇	被威嚇	その他
		発見～逸失	発見～逸失					威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	7月27日	9:05～	9:06	成鳥	不明														対象事業実施区域の北部上空を北西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ミサゴ）（7/7）

ミサゴ確認結果

平成24年8月調査

調査定点(A,B)

調査定点(A,B)		行動特性														行動の内容				
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み		飛び出し	威嚇	被威嚇	その他
		発見～逸失	発見～逸失					威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	8月	8月はミサゴの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハチクマ）（1/7）

ハチクマ確認結果

平成24年2月調査

調査定点(A,B)

調査定点(A,B)		行動特性														行動の内容				
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み		飛び出し	威嚇	被威嚇	その他
		発見～逸失	発見～逸失					威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	2月	2月はハチクマの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハチクマ）（2/7）

ハチクマ確認結果

平成24年3月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ベアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	3月	3月はハチクマの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハチクマ）（3/7）

ハチクマ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ベアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	4月	4月はハチクマの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハチクマ）（4/7）

ハチクマ確認結果

平成24年5月調査

調査定点(A,B)

5月29日(火) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴後曇)

5月30日(水) 調査時間(5:00-13:00) 天候(曇後晴)

5月31日(木) 調査時間(5:00-13:00) 天候(曇)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容	
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	5月29日	9:40 ~ 20秒	成鳥	雄																餌の運搬 対象事業実施区域の南西側を北方向へ飛翔する。ヘビの運搬を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
2	5月29日	10:10 ~ 20秒	成鳥	雄																定点B北側を南方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
3	5月29日	13:46 ~ 30秒	成鳥	雄									●							対象事業実施区域の南西側を南西方向へ飛翔する。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
4	5月29日	15:31 ~ 15:32	成鳥	不明																対象事業実施区域の北側を巡回しながら北東方向へ飛翔した後東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
5	5月29日	15:32 ~ 15:35	成鳥	雄															ディスプレイ 対象事業実施区域の南西側上空でディスプレイフライトを行いながら北方向へ飛翔した後、進路を南西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
6	5月30日	6:38 ~ 6:39	不明	不明																対象事業実施区域の北側を北西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
7	5月30日	11:06 ~ 11:09	成鳥	雄															ディスプレイ 定点B東側を巡回しながら南方向へ飛翔した後、進路を西方向へ変え飛翔し、ディスプレイフライトを行う。手前の樹林に遮られ消失する。	
8	5月30日	11:17 ~ 30秒	成鳥	雄																定点B東側を北東方向へ飛翔した後北西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
9	5月30日	11:20 ~ 11:26	成鳥	雄																対象事業実施区域の南側を巡回しながら北方向へ飛翔し、その後進路を南東方向へ変え飛翔する。進路を北方向へ変え、巡回しながら飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
10	5月30日	11:20 ~ 11:26	成鳥	雄																対象事業実施区域の南東側を巡回しながら東方向へ飛翔した後進路を北方向へ変え飛翔する。進路を南西方向へ変え飛翔した後、北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
11	5月30日	12:27 ~ 12:28	成鳥	雌																対象事業実施区域の南東側を巡回しながら北東方向へ飛翔した後進路を北西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
12	5月31日	11:32 ~ 15秒	成鳥	不明																定点B南東側を北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
13	5月31日	13:50 ~ 13:51	成鳥	雄	アカマツ	1分													不明	対象事業実施区域の北西側のアカマツに停留している。飛び立って、南東方向へ巡回しながら飛翔した後進路を北西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果 (ハチクマ) (5/7)

ハチクマ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)

6月27日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

6月28日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

6月29日(金) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間 発見 ~ 逸失	年齢	性別	行動特性													行動の内容						
					停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他					
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌				
1	6月27日	9:30 ~ 20秒	成鳥	雄																				対象事業実施区域の西部上空を南東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
2	6月29日	12:25 ~ 10秒	不明	不明																				対象事業実施区域の南側を北西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果 (ハチクマ) (6/7)

ハヤブサ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)

7月25日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

7月26日(木) 調査時間(5:00-13:00) 天候(晴)

7月27日(金) 調査時間(5:00-13:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間 発見 ~ 逸失	年齢	性別	行動特性													行動の内容						
					停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他					
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌				
1	7月27日	7:23 ~ 7:24	成鳥	雄																				鳴き声 定点B南西側をNo.2の個体と共に北方向へ飛翔した後旋回する。鳴き声を確認する。進路を南西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
2	7月27日	7:23 ~ 7:24	成鳥	雄																				鳴き声 定点B南西側をNo.1の個体と共に北方向へ飛翔した後旋回する。鳴き声を確認する。進路を南西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハチクマ）(7/7)

ハチクマ確認結果

平成24年8月調査

調査定点(A,B)

8月29日(水) 調査時間(8:00-16:00) 天候(晴)

8月30日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

8月31日(金) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間 発見 ~ 逸失	年齢	性別	行動特性													行動の内容		
					停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他	
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌
1	8月29日	9:06 ~ 9:07	成鳥	雄																対象事業実施区域の南東側を旋回しながら南方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
2	8月29日	9:11 ~ 9:29	成鳥	雄														●		対象事業実施区域の南西側をNo.3の個体と共に旋回しながら南方向へ飛翔する。進路を北東方向へ変え飛翔する。その後進路を北西方向へ変え旋回しながら飛翔する。トビに対して威嚇を行う。西方向へ飛翔し、手前の樹林に遮られ消失する。
3	8月29日	9:11 ~ 9:27	幼鳥	不明															● ●	対象事業実施区域の南西側をNo.2の個体と共に旋回しながら南方向へ飛翔する。鳴き声を確認する。進路を北東方向へ変え飛翔する。その後進路を北西方向へ変え旋回しながら飛翔する。ツミに威嚇された後、トビと威嚇し合う。南西方向へ飛翔し、手前の樹林に遮られ消失する。
4	8月29日	11:16 ~ 10秒	幼鳥	不明																鳴き声 定点B南東側を南西方向へ飛翔する。鳴き声を確認する。手前の樹林に遮られ消失する。
5	8月30日	6:05 ~ 30秒	幼鳥	不明																対象事業実施区域の東部上空を南西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
6	8月30日	10:50 ~ 10:52	幼鳥	不明															● ●	定点B北西側を旋回しながら南東方向へ飛翔する。ノスリと威嚇し合う。鳴き声を確認する。東方向へ飛翔した後、進路を北東方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
7	8月31日	5:51 ~ 30秒	幼鳥	不明																鳴き声 対象事業実施区域の上空を南東方向へ飛翔する。鳴き声を確認する。手前の樹林に遮られ消失する。
8	8月31日	9:44 ~ 9:48	成鳥	雄																対象事業実施区域の南側を旋回しながら南西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
9	8月31日	10:10 ~ 10:15	成鳥	雄																ディスプレイ 定点B南東側を旋回しながら東方向へ飛翔する。進路を北方向へ変え飛翔する。ディスプレイフライトを行う。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ツミ）（1/7）

ツミ確認結果

平成24年2月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	2月	2月はツミの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ツミ）（2/7）

ツミ確認結果

平成24年3月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	3月	3月はツミの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ツミ）（3/7）

ツミ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)

4月25日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴時々曇)

4月26日(木) 調査時間(5:30-13:30) 天候(雨後曇)

4月27日(金) 調査時間(5:30-13:30) 天候(雨後曇)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	4月26日	11:20～11:22	成鳥	雄															対象事業実施区域の北西側を旋回しながら南方向へ飛翔する。トビに対して威嚇を行う。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ツミ）（4/7）

ツミ確認結果

平成24年5月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容		
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	5月	5月はツミの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ツミ）（5/7）

ツミ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容	
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	6月	6月はツミの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ツミ）（6/7）

ツミ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容	
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	7月	7月はツミの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ツミ）（7/7）

ツミ確認結果

平成24年8月調査

調査定点(A,B)

8月29日（水） 調査時間（8:00-16:00）天候（晴）  
 8月30日（木） 調査時間（6:00-14:00）天候（晴）  
 8月31日（金） 調査時間（6:00-14:00）天候（晴）

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容	
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	8月29日	9:16 ~	9:18	成鳥	雌															対象事業実施区域の西側を巡回しながら北西方向へ飛翔する。ハチクマに対して威嚇を行う。西方向へ急降下し、何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。
2	8月30日	10:28 ~	10:32	成鳥	雄															対象事業実施区域の北西側を北東方向へ巡回しながら飛翔する。その後進路を南東方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
3	8月31日	6:38 ~	6:39	成鳥	雄														餌の運搬	定点A上空を北西方向へ飛翔する。小鳥類の餌を運搬している。樹林内に飛び込み消失する。



表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハイタカ）（3/7）

ハイタカ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)

4月25日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴時々曇)

4月26日(木) 調査時間(5:30-13:30) 天候(雨後曇)

4月27日(金) 調査時間(5:30-13:30) 天候(雨後曇)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	観察定点	行動特性													行動の内容				
		発見 ~ 逸失	停留場所				停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他					
								威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌			
1	4月25日	9:47 ~ 10秒	成鳥	雄	A																			対象事業実施区域の北側を東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
2	4月25日	12:22 ~ 12:23	若鳥	不明	B																			対象事業実施区域の南側を北方向へ巡回しながら飛翔する。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
3	4月26日	10:31 ~ 15秒	成鳥	雌	B																			対象事業実施区域の南側を北西方向へ巡回しながら飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
4	4月27日	12:04 ~ 30秒	若鳥	雌	B																			定点B西側を巡回しながら南方向へ飛翔する。ノスリに対して威嚇を行う。進路を北西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハイタカ）（4/7）

ハイタカ確認結果

平成24年5月調査

調査定点(A,B)

5月29日(火) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴後曇)

5月30日(水) 調査時間(5:00-13:00) 天候(曇後晴)

5月31日(木) 調査時間(5:00-13:00) 天候(曇)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容					
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他						
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌				
1	5月31日	10:43 ~ 10:44	成鳥	雄																				定点B南側を北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハイタカ）（5/7）

ハイタカ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他	
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	6月	6月はハイタカの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハイタカ）（6/7）

ハイタカ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間 発見～逸失	年齢	性別	行動特性													行動の内容	
					停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	7月																		7月はハイタカの確認なし

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハイタカ）（7/7）

ハイタカ確認結果

平成24年8月調査

調査定点(A,B)

8月29日(水) 調査時間(8:00-16:00)天候(晴)

8月30日(木) 調査時間(6:00-14:00)天候(晴)

8月31日(金) 調査時間(6:00-14:00)天候(晴)

No.	調査日	観察時間 発見～逸失	年齢	性別	行動特性													行動の内容	
					停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	8月29日	11:37～30秒	成鳥	雄															対象事業実施区域の北側を北東方向へ飛翔する。トビに対して威嚇を行う。北東方向へ飛翔し、手前の樹林に遮られ消失する。
2	8月31日	10:55～10:57	成鳥	雌															対象事業実施区域の北側を旋回しながら北方向へ飛翔する。探餌を行う。進路を北東方向へ変え急降下し、何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。



表. ワシタカ類定点観察調査結果（オオタカ）（3/7）

オオタカ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容	
		発見 ~ 逸失	停留時間			停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
								威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	4月	4月はオオタカの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（オオタカ）（4/7）

オオタカ確認結果

平成24年5月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容	
		発見 ~ 逸失	停留時間			停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
								威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	5月	5月はオオタカの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（オオタカ）（5/7）

オオタカ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容	
		発見 ~ 逸失	停留時間			停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
								威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	6月	6月はオオタカの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（オオタカ）（6/7）

オオタカ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容	
		発見 ~ 逸失	停留時間			停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
								威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	7月	7月はオオタカの確認なし																		







表. ワシタカ類定点観察調査結果（ノスリ）(2/10)

ノスリ確認結果

平成24年3月調査

調査定点(A,B)

3月26日(月) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

3月27日(火) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

3月28日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(曇時々雪)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性												行動の内容		
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ベアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	3月26日	10:56 ~ 10秒																	対象事業実施区域の北側を北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
2	3月26日	11:45 ~ 15秒		成鳥	不明								●	●					定点Bの北側を旋回しながら南方向へ飛翔する。探餌を行う。進路を東方向へ変え急降下し、何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。	
3	3月26日	13:11 ~ 40秒		不明	不明														対象事業実施区域の南西側を南東方向へ旋回した後飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
4	3月26日	13:45 ~ 13:47		若鳥	不明														定点Bの北東側を北方向へ飛翔した後北西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
5	3月26日	15:56 ~ 16:03		成鳥	不明	鉄塔	7分			●									定点Bの南東側の鉄塔に停留している。休息を行う。飛び立って、南西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
6	3月26日	15:56 ~ 16:03		成鳥	不明	鉄塔	7分			●									定点Bの南東側の鉄塔に停留している。休息を行う。飛び立って、南西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
7	3月27日	6:04 ~ 6:42		成鳥	不明	鉄塔	38分			●									定点Bの南東側の鉄塔に停留している。休息を行う。飛び立って、南方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
8	3月27日	6:04 ~ 6:48		成鳥	不明	鉄塔	44分			●									定点Bの南東側の鉄塔に停留している。休息を行う。飛び立って、南東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
9	3月27日	7:56 ~ 7:57		成鳥	不明														対象事業実施区域の南側を東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
10	3月27日	10:12 ~ 10:16		若鳥	不明									●					対象事業実施区域の北側を南方向へ飛翔する。対象事業実施区域の上空を旋回しながら南方向へ飛翔し探餌を行う。飛び立って、北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
11	3月27日	10:34 ~ 10:39		成鳥	不明									●					定点Bの南東側を旋回しながら北西方向へ飛翔する。探餌を行う。進路を南東方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	



表. ワシタカ類定点観察調査結果(ノスリ)(4/10)

ノスリ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)

4月25日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴時々曇)

4月26日(木) 調査時間(5:30-13:30) 天候(雨後曇)

4月27日(金) 調査時間(5:30-13:30) 天候(雨後曇)

No.	調査日	観察時間 発見 ~ 逸失	年齢	性別	行動特性														行動の内容	
					停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他		
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌
1	4月25日	9:47 ~ 9:48	成鳥	不明																ディスプレイフライト 対象事業実施区域の南側をNo.2の個体と共に南東方向へディスプレイフライトを行いながら飛翔する。進路を北西方向へ変え、ディスプレイフライトを行い飛翔する。その後進路を南東方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
2	4月25日	9:47 ~ 9:48	成鳥	不明																ディスプレイフライト 対象事業実施区域の南側をNo.1の個体と共に南東方向へディスプレイフライトを行いながら飛翔する。進路を北西方向へ変え、ディスプレイフライトを行い飛翔する。その後進路を南東方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
3	4月25日	10:14 ~ 10秒	成鳥	不明																対象事業実施区域の西側を北西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
4	4月25日	10:15 ~ 10:17	成鳥	不明																ディスプレイフライト・鳴き声 定点A南西側を北西方向へディスプレイフライトを行いながら飛翔する。その後進路を北方向へ変え、ディスプレイフライトを行いながら飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
5	4月25日	11:01 ~ 11:15	成鳥	雄														●		ディスプレイフライト・鳴き声 定点B東側を旋回しながら南西方向へ飛翔し、その後北西方向へディスプレイフライトを行い飛翔する。鳴き声を確認する。進路を南方向へ変え、ディスプレイフライトを行いながら飛翔する。進路を北西方向へ変え急降下し、No.7に対して威嚇を行う。進路を南方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
6	4月25日	11:02 ~ 11:15	成鳥	雌																ディスプレイフライト・鳴き声 定点B東側を旋回しながら南西方向へ飛翔し、その後北西方向へディスプレイフライトを行い飛翔する。鳴き声を確認する。進路を南方向へ変え、ディスプレイフライトを行いながら飛翔する。進路を南西方向へ変え旋回しながら飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
7	4月25日	11:09 ~ 11:18	成鳥	不明															●	ディスプレイフライト・鳴き声 定点B南側を旋回しながら西方向へ飛翔する。進路を北方向へ変え、飛翔する。No.5の個体に威嚇される。進路を東方向へ変え、旋回しながら飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ノスリ）(5/10)

ノスリ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)

4月25日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴時々曇)

4月26日(木) 調査時間(5:30-13:30) 天候(雨後曇)

4月27日(金) 調査時間(5:30-13:30) 天候(雨後曇)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容						
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他				
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌			
8	4月26日	5:40 ~ 10秒		不明	不明																		対象事業実施区域の南東側を北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
9	4月26日	7:25 ~ 7:31	鉄塔	5分	成鳥	不明						不明											定点B南東側の鉄塔に停留している。飛び立って、南方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
10	4月26日	9:18 ~ 9:23	鉄塔	5分	成鳥	不明																	定点B南東側の鉄塔に停留している。探餌を行う。飛び立って、南東方向へ飛翔する。急降下し何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。
11	4月26日	13:22 ~ 13:23			成鳥	不明																	対象事業実施区域の北西側を旋回しながら北方向へ飛翔する。ハシトガラスに威嚇される。手前の樹林に遮られ消失する。
12	4月27日	12:04 ~ 12:06			不明	不明																	定点B上空を旋回しながら北西方向へ飛翔する。進路を南西方向へ変え、ハシタカに威嚇されながら飛翔する。その後探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ノスリ）（6/10）

ノスリ確認結果

平成24年5月調査

調査定点(A,B)

5月29日(火) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴後曇)

5月30日(水) 調査時間(5:00-13:00) 天候(曇後晴)

5月31日(木) 調査時間(5:00-13:00) 天候(曇)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容						
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他					
							威嚇	探餌	休息	ベアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌											
1	5月29日	9:41 ~ 20秒	成鳥	不明																					定点B南東側をNo.2、No.3の個体と共に北方向へ飛翔する。進路を南西方向へ変え飛翔した後反転し北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
2	5月29日	9:41 ~ 20秒	不明	不明																					定点B南東側をNo.1、No.3の個体と共に北方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
3	5月29日	9:41 ~ 20秒	不明	不明																					定点B南東側をNo.1、No.2の個体と共に北方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
4	5月29日	11:10 ~ 11:12	成鳥	不明																		●		●	対象事業実施区域の南側を南西方向へ飛翔する。カラス類から威嚇される。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
5	5月29日	13:47 ~ 13:48	成鳥	不明																					定点B東側を旋回しながら北方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
6	5月30日	9:46 ~ 10秒	不明	不明																					定点B北側を東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
7	5月30日	11:07 ~ 11:09	成鳥	不明																					定点B南東側を旋回しながら南方向へ飛翔した後進路を西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
8	5月30日	11:12 ~ 5秒	成鳥	不明																					定点Bの南東側を北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
9	5月31日	10:06 ~ 10:08	成鳥	不明																		●		●	定点Bの南東側を北東方向へ旋回しながら飛翔する。進路を南西方向へ変え急降下する。トビに対して威嚇を行う。進路を北東方向へ変え旋回しながら飛翔する。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
10	5月31日	11:02 ~ 11:05	成鳥	不明																		●			定点Bの南東側を北東方向へ旋回しながら飛翔する。探餌を行う。進路を南西方向へ変え、旋回しながら飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ノスリ）（7/10）

ノスリ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)

6月27日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

6月28日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

6月29日(金) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容		
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他	
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌							
1	6月27日	9:48 ~ 9:53	成鳥	不明															●	ディスプレイフライト・鳴き声	対象事業実施区域の南側を旋回しながら南西方向へ飛翔する。No.2の個体から威嚇される。その後ディスプレイフライトを行いながら南西方向へ飛翔する。鳴き声を確認する。急降下し、手前の樹林に遮られ消失する。
2	6月27日	9:49 ~ 9:50	成鳥	不明															●		対象事業実施区域の南東側を旋回しながら北西方向へ飛翔する。No.1の個体に対して威嚇を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
3	6月27日	11:29 ~ 15秒	成鳥	不明															●		定点B南側の樹林内から飛び出して、北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
4	6月27日	14:02 ~ 14:04	成鳥	不明															●		対象事業実施区域の南側を南方向へ飛翔する。No.5の個体に対して威嚇を行う。進路を北東方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
5	6月27日	14:02 ~ 14:06	成鳥	不明															●		対象事業実施区域の南側を南方向へ飛翔する。No.4の個体から威嚇される。その後No.6の個体から威嚇され、進路を東方向へ変え、飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
6	6月27日	14:03 ~ 14:06	成鳥	不明															●		対象事業実施区域の南側を南西方向へ飛翔する。進路を東方向へ変え飛翔し、No.5の個体に対して威嚇を行う。その後進路を北西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
7	6月27日	14:50 ~ 30秒	成鳥	不明																	対象事業実施区域の北西側を南東方向へ飛翔する。進路を北西方向へ変え旋回しながら飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
8	6月27日	14:52 ~ 14:53	成鳥	不明																ディスプレイフライト	対象事業実施区域の北西側を北東方向へディスプレイフライトを行いながら飛翔する。進路を南西方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
9	6月27日	14:55 ~ 10秒	成鳥	不明															●		対象事業実施区域の北西側を北方向へ飛翔する。樹林内に飛び込み消失する。
10	6月28日	10:11 ~ 10:12	成鳥	不明																餌の運搬	対象事業実施区域の南東側上空を旋回飛翔した後南西方向へ飛翔する。ネズミ大の餌を運搬している。手前の樹林に遮られ消失する。
11	6月28日	10:40 ~ 10:41	成鳥	不明		鉄塔	5秒														対象事業実施区域の上空を北西方向へ飛翔する。鉄塔に停留する。飛び立って、南西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
12	6月28日	10:49 ~ 20秒	成鳥	不明															●		対象事業実施区域の西側樹林内から飛び出して、南東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ノスリ）(8/10)

ノスリ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)

6月27日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

6月28日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

6月29日(金) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容		
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他	
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌							
13	6月28日	11:00 ~ 11:12	成鳥	不明																ディスプレイフライト・鳴き声	対象事業実施区域の南西側樹林内から飛び出して、北東方向へ飛翔する。進路を西方向へ変え、旋回しながら飛翔する。進路を南方向へ変え、ディスプレイフライトを行いながら飛翔する。鳴き声を確認する。進路を北方向へ変え急降下する。手前の樹林に遮られ消失する。
14	6月28日	11:00 ~ 15秒	成鳥	不明																	対象事業実施区域の南西側樹林内から飛び出して、東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
15	6月28日	11:03 ~ 11:07	不明	不明																鳴き声	定点B北東側樹林内から鳴き声を確認する。
16	6月28日	13:03 ~ 13:06	成鳥	雄																	定点B東側を北東方向へ旋回しながら飛翔する。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
17	6月28日	13:46 ~ 5秒	成鳥	不明																鳴き声	対象事業実施区域の西側を東方向へ飛翔する。鳴きながら樹林内に飛込み消失する。
18	6月29日	10:25 ~ 20秒	成鳥	不明																	定点B北側を北方向へ旋回しながら飛翔する。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
19	6月29日	11:26 ~ 30秒	成鳥	不明																	対象事業実施区域の南東側を旋回しながら北東方向へ飛翔する。樹林内に飛込み北方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ノスリ）(9/10)

ノスリ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)

7月25日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

7月26日(木) 調査時間(5:00-13:00) 天候(晴)

7月27日(金) 調査時間(5:00-13:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容		
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他	
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌							
1	7月27日	9:00 ~ 9:03	成鳥	不明																	定点B南側を北方向へ飛翔する。進路を南方向へ変え、旋回しながら飛翔する。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
2	7月27日	9:14 ~ 9:16	成鳥	不明																	定点B南側を旋回しながら北方向へ飛翔した後南西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ノスリ）（10/10）

ノスリ確認結果

平成24年8月調査

調査定点(A,B)

8月29日(水) 調査時間(8:00-16:00) 天候(晴)

8月30日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

8月31日(金) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容						
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他				
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌			
1	8月29日	9:42 ~ 9:43		幼鳥	不明																		対象事業実施区域の上空を南方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
2	8月29日	11:18 ~ 10秒		成鳥	不明																		定点B南東側を南西方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
3	8月29日	13:22 ~ 13:24		幼鳥	不明								●										定点B南側を西方向へ飛翔する。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。
4	8月30日	8:35 ~ 8:38		幼鳥	不明	アカマツ	1分															鳴き声	対象事業実施区域の北側を巡回しながら南西方向へ飛翔する。鳴き声を確認する。アカマツに停留する。飛び立って、北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
5	8月30日	10:50 ~ 10:51		不明	不明																	● ●	定点B西側を巡回しながら南東方向へ飛翔する。ハチクマと威嚇し合う。手前の樹林に遮られ消失する。
6	8月31日	7:35 ~ 7:37		成鳥	雄																		対象事業実施区域の西側を巡回しながら北方向へ飛翔する。進路を東方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
7	8月31日	8:48 ~ 8:50		成鳥	雄								●										対象事業実施区域の北西側を巡回しながら南方向へ飛翔する。探餌を行う。手前の樹林に遮られ消失する。



表. ワシタカ類定点観察調査結果（クマタカ）（5/7）

クマタカ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	停留場所	停留時間	行動特性											行動の内容	
		発見～逸失	威嚇					探餌	休息	停留中の行動			捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
										ベアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	6月	6月はクマタカの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（クマタカ）（6/7）

クマタカ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	停留場所	停留時間	行動特性											行動の内容	
		発見～逸失	威嚇					探餌	休息	停留中の行動			捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
										ベアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	7月	7月はクマタカの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（クマタカ）（7/7）

クマタカ確認結果

平成24年8月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	停留場所	停留時間	行動特性											行動の内容	
		発見～逸失	威嚇					探餌	休息	停留中の行動			捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他
										ベアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	8月	8月はクマタカの確認なし																		

表. ワシタカ類定点観察調査結果（チョウゲンボウ）(1/7)

チョウゲンボウ確認結果

平成24年2月調査

調査定点(A,B)																			
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性										行動の内容			
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し		威嚇	被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	2月	2月はチョウゲンボウの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（チョウゲンボウ）(2/7)

チョウゲンボウ確認結果

平成24年3月調査

調査定点(A,B)																			
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性										行動の内容			
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し		威嚇	被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	3月	3月はチョウゲンボウの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（チョウゲンボウ）(3/7)

チョウゲンボウ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)																			
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性										行動の内容			
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し		威嚇	被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	4月	4月はチョウゲンボウの確認なし																	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（チョウゲンボウ）(4/7)

チョウゲンボウ確認結果

平成24年5月調査

調査定点(A,B)																			
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性										行動の内容			
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し		威嚇	被威嚇	その他
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り						
1	5月31日	10:35～10:37	成鳥	雄														定点B北側を南東方向へ旋回しながら飛翔する。探餌を行う。進路を北西方向へ変え飛翔し、その後進路を南方向へ変え急降下する。手前の樹林に遮られ消失する。	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（チョウゲンボウ）(5/7)

チョウゲンボウ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)																	
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動			捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他	
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇						
1	6月	6月はチョウゲンボウの確認なし															

表. ワシタカ類定点観察調査結果（チョウゲンボウ）(6/7)

チョウゲンボウ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)																	
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動			捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他	
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇						
1	7月	7月はチョウゲンボウの確認なし															

表. ワシタカ類定点観察調査結果（チョウゲンボウ）(7/7)

チョウゲンボウ確認結果

平成24年8月調査

調査定点(A,B)																	
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容
		発見～逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動			捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他	
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇						
1	8月	8月はチョウゲンボウの確認なし															

表. ワシタカ類定点観察調査結果 (ハヤブサ) (1/7)

ハヤブサ確認結果

平成24年2月調査

調査定点(A,B)

2月27日(月) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)  
 2月28日(火) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)  
 3月1日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容				
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他					
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌			
1	2月27日	15:07 ~ 15:58	成鳥	雌	鉄塔	51分		●	●							●							対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、北東方向へ飛翔する。何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。
2	3月1日	10:21 ~ 10:25	成鳥	雌	鉄塔	4分		●															対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌を行う。飛び立って、北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果 (ハヤブサ) (2/7)

ハヤブサ確認結果

平成24年3月調査

調査定点(A,B)

3月26日(月) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)  
 3月27日(火) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)  
 3月28日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(曇時々雪)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容				
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他					
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌			
1	3月26日	14:14 ~ 20秒	不明	雄												●							対象事業実施区域の北側を南方向へ飛翔する。急降下し、何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果 (ハヤブサ) (3/7)

ハヤブサ確認結果

平成24年4月調査

調査定点(A,B)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性													行動の内容				
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他					
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌			
1	4月																						4月はハヤブサの確認なし

表. ワシタカ類定点観察調査結果 (ハヤブサ) (4/7)

ハヤブサ確認結果

平成24年5月調査

調査定点(A,B)

5月29日(火) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴後曇)

5月30日(水) 調査時間(5:00-13:00) 天候(曇後晴)

5月31日(木) 調査時間(5:00-13:00) 天候(曇)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容					
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他			
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌		
1	5月31日	6:38 ~ 6:51	成鳥	雄	鉄塔	13分	●	●														対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、南東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果 (ハヤブサ) (5/7)

ハヤブサ確認結果

平成24年6月調査

調査定点(A,B)

6月27日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

6月28日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

6月29日(金) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間		年齢	性別	行動特性											行動の内容						
		発見 ~ 逸失	停留場所			停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇		被威嚇	その他				
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌			
1	6月27日	16:05 ~ 16:24	成鳥	雌	鉄塔	10分	●															対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌を行う。飛び立って、南方向へ飛翔する。その後進路を北西方向へ変え、旋回しながら飛翔する。探餌を行う。進路を南東方向へ変え飛翔する。その後南西方向へ飛翔した後、西方向へ急降下し、トビに対して威嚇を行う。手前の樹林に遮られ消失する。	
2	6月27日	16:58 ~ 17:39	成鳥	雌	鉄塔	12分	●															対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌を行う。飛び立って、南西方向へ飛翔する。急降下し、ツバメ類に対して狩りを行い、失敗する。進路を北東方向へ変え飛翔する。鉄塔に停留する。探餌、休息を行う。飛び立って、南東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
					鉄塔	14分	●	●															
3	6月28日	5:48 ~ 6:00	成鳥	雌	鉄塔	12分	●	●														対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、南方向へ飛翔した後、進路を南東方向へ変え急降下する。何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。	
4	6月29日	5:48 ~ 6:06	不明	雌	鉄塔	17分	●	●														対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、南西方向へ飛翔する。進路を北方向へ変え飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。	
5	6月29日	6:23 ~ 7:22	成鳥	雌	鉄塔	27分	●	●															対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、南東方向へ飛翔する。鉄塔に停留する。探餌、休息を行う。飛び立って、北方向へ飛翔する。進路を北東方向へ変え飛翔し、その後南東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
					鉄塔	26分	●	●															
6	6月29日	7:39 ~ 8:02	成鳥	雌	鉄塔	21分	●	●														対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、南西方向へ急降下し、何かに対して狩りを行い、失敗する。進路を南東方向へ変え飛翔する。トビに威嚇される。手前の樹林に遮られ消失する。	

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハヤブサ）（6/7）

ハヤブサ確認結果

平成24年7月調査

調査定点(A,B)

7月25日(水) 調査時間(10:00-18:00) 天候(晴)

7月26日(木) 調査時間(5:00-13:00) 天候(晴)

7月27日(金) 調査時間(5:00-13:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間 発見 ~ 逸失	年齢	性別	行動特性													行動の内容						
					停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他					
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌				
1	7月26日	5:50 ~ 6:03	不明	雄	鉄塔	13分	●	●																対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、南東方向へ飛翔した後北方向へ飛翔する。急降下し何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。

表. ワシタカ類定点観察調査結果（ハヤブサ）（7/7）

ハヤブサ確認結果

平成24年8月調査

調査定点(A,B)

8月29日(水) 調査時間(8:00-16:00) 天候(晴)

8月30日(木) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

8月31日(金) 調査時間(6:00-14:00) 天候(晴)

No.	調査日	観察時間 発見 ~ 逸失	年齢	性別	行動特性													行動の内容						
					停留場所	停留時間	停留中の行動					捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇		その他					
							威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り							探餌				
1	8月30日	5:58 ~ 6:37	成鳥	雌	鉄塔	37分	●	●																対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、南東方向へ飛翔した後進路を北方向へ変え飛翔する。急降下し、何かに対して狩りを行う。手前の樹林に遮られ消失する。
2	8月30日	6:50 ~ 7:53	成鳥	雄	鉄塔	53分	●	●																対象事業実施区域の南東側の鉄塔に停留している。探餌、休息を行う。飛び立って、南方向へ飛翔する。何かに対して狩りを行い、失敗する。進路を北方向へ変え、飛翔する。西方向へ飛翔し、鉄塔に停留する。探餌を行う。飛び立って、北東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。
					鉄塔	9分	●																	
3	8月30日	10:10 ~ 10:35	成鳥	雄	鉄塔	25分																		対象事業実施区域の南東側を南方向へ飛翔した後進路を北西方向へ変え飛翔する。鉄塔に停留する。飛び立って、東方向へ飛翔する。手前の樹林に遮られ消失する。

### 資料7 フクロウ類調査結果

フクロウ類の夜間踏査の確認記録を以下に示す。また、ワシタカ類定点観察調査中に確認されたフクロウの記録もここに示す。

表. フクロウ類調査（夜間踏査）結果（フクロウ）（1/4）

フクロウ確認結果		平成24年3月調査																								
		3月26日（月）調査時間（18:30-20:00）天候（晴）																								
		3月27日（火）調査時間（18:30-20:00）天候（晴）																								
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	観察定点	行動特性														行動の内容					
		発見～逸失	停留場所				停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他						
								威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌											
1	3月26日	19:39～19:51	不明	不明	-																				鳴き声	やまびこ公園東側の東側のアカマツ林の谷内で鳴き声を確認する
2	3月27日	18:25～5秒	不明	不明	-																				鳴き声	やまびこ公園東側の針葉樹林内で鳴き声を確認する

表. フクロウ類調査（夜間踏査）結果（フクロウ）（2/4）

フクロウ確認結果		平成24年4月調査																								
		4月25日（月）調査時間（18:30-20:30）天候（曇）																								
		4月26日（火）調査時間（18:30-20:30）天候（雨）																								
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	観察定点	行動特性														行動の内容					
		発見～逸失	停留場所				停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他						
								威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌											
1	4月25日	20:03～20:08	不明	不明	-																				鳴き声	やまびこ公園東側の東側のアカマツ林の谷内で鳴き声を確認する

表. フクロウ類調査（夜間踏査）結果（フクロウ）（3/4）

フクロウ確認結果		平成24年5月調査																			
		5月29日（火）調査時間（18:30-20:30）天候（曇）																			
		5月30日（水）調査時間（18:30-20:30）天候（晴）																			
No.	調査日	観察時間		年齢	性別	観察定点	行動特性														行動の内容
		発見～逸失	停留場所				停留時間	停留中の行動						捕食		飛び込み	飛び出し	威嚇	被威嚇	その他	
								威嚇	探餌	休息	ヘアリング	被威嚇	その他	狩り	探餌						
1	5月	5月はフクロウ類の確認なし																			



## 資料8 両生類・爬虫類確認種リスト

現地調査で確認された両生類・爬虫類の確認種リストを以下に示す。

表. 両生類・爬虫類確認種リスト

分類群	目名	科名	種名	学名	対象事業 実施区域		調査時期			備考
					内	外	春季	夏季	秋季	
両生類	無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>		●		●		
		アマガエル科	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	●	●	●	●	●	
		アカガエル科	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>		●			●	
		アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	<i>Rhacophorus schlegelii</i>	●	●		●	●	
			モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>		●			●	長野県RDB:NT
合計	1目	4科	5種		2種	5種	1種	3種	4種	
爬虫類	有鱗目	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ 注2	<i>Plestiodon finitimus</i>		●		●		
		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>		●	●	●	●	
		ナミヘビ科	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>		●	●		●	
			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>		●	●			
合計	1目	3科	4種		0種	4種	2種	2種	2種	

注1：目録は基本的に「河川水辺の国勢調査生物種目録、2012，（財団法人リバーフロントセンター）」に準拠した。

注2：従来のニホントカゲ(*Plestiodon japonicus*)は、2012年8月、西日本に生息するニホントカゲ(*Plestiodon japonicus*)から東日本に分布するヒガシニホントカゲ(*Plestiodon finitimus*)が新種として新たに分離された。対象事業実施区域を含む長野県はヒガシニホントカゲの分布域であるため、ヒガシニホントカゲ(*Plestiodon finitimus*)とする。

注3：備考欄

長野県 RDB：「長野県版レッドデータブック-長野県の絶滅のおそれのある野生生物」(平成14年 長野県)の掲載種

・NT：準絶滅危惧

## 資料9 両生類・爬虫類種別確認状況

現地調査で確認された両生類・爬虫類の各種の確認状況を以下に示す。

表. 両生類・爬虫類の確認状況

分類群	種名	確認状況
両生類	アズマヒキガエル	夏季調査で調査範囲北側の道路脇で成体が確認された。調査範囲内では本種の産卵環境は見られず、確認数も少ないことから、調査範囲周辺での生息数は少ないと考えられる。
	ニホンアマガエル	全期間を通して調査範囲北東側のやまびこ公園内で成体が確認された。調査範囲内では本種の産卵環境は見られないことから、生息場所の中心は調査範囲の北東側隣接地にあるやまびこ公園内の池周辺であると考えられる。
	ヤマアカガエル	秋季調査で調査範囲南西側の樹林内で成体が確認された。調査範囲内では本種の産卵環境がみられず、確認数も少ないことから、調査範囲周辺での生息数は少ないものと考えられる。
	シュレーゲルアオガエル	夏季及び秋季調査で調査範囲北東側の草地周辺で成体が確認された。調査範囲内では本種の産卵環境は見られないことから、生息場所の中心は調査範囲の北東側隣接地にあるやまびこ公園内の池周辺であると考えられる。
	モリアオガエル	秋季調査で調査範囲北東側の道路脇草地において幼体が確認された。調査範囲内では本種の産卵環境は見られないことから、生息場所の中心は調査範囲の北東側隣接地のやまびこ公園内の池周辺であると考えられる。
爬虫類	ニホントカゲ	夏季調査で調査範囲北側の道路脇で幼体が確認された。調査範囲周辺は本種の生息に適した日当たりの良い林縁部が多く見られることから、本種の生息に適した環境であると考えられるものの、確認数が少なく、調査範囲周辺での生息数は少ないものと考えられる。
	ニホンカナヘビ	全調査期間を通して調査範囲広範囲の樹林部や道路脇で成体が確認された。調査範囲周辺は本種の生息に適した日当たりの良い林縁部が多く見られることから、生息に適した環境であると考えられる。また、確認数も多いことから調査範囲周辺に多数生息しているものと考えられる。
	シマヘビ	秋季調査で調査範囲南側尾根の林道脇で成体が確認された。確認数が少ないため生息状況の詳細は不明であるが、調査範囲周辺では本種の主要な餌となるネズミ類が多数生息しており、本種の生息に適した環境であると考えられる。
	アオダイショウ	春季調査で調査範囲西側の道路脇で成体が確認された。確認数が少なく生息状況の詳細は不明であるが、調査範囲周辺は本種の主要な餌となるネズミ類や小鳥類が多数生息しており、本種の生息に適した環境であると考えられる。

資料 10 昆虫類確認種リスト

現地調査で確認された昆虫類リストを以下に示す。

表. 昆虫類確認種リスト (1/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業実施区域		調査時期				確認方法			備考	
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト		
1	カガロウ目	チラカガロウ科	チラカガロウ	<i>Isonychia japonica</i>	●										
2	トンボ目	アオイトトンボ科	ホソオツネトンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>	●		●	●	●	●	●	●			
3			オツネトンボ	<i>Sympetma paedisca</i>	●		●								
4		ヤンマ科	ルリボシヤンマ		<i>Aeshna juncea</i>	●									
5			オオトルリボシヤンマ	<i>Aeshna nigrolava</i>	●										
6	オニヤンマ科			<i>Anotogaster sieboldii</i>	●										
7	トンボ科		シオオカトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	●										
8			シオヤトトンボ	<i>Orthetrum japonicum japonicum</i>	●		●								
9			オオシオオカラトンボ	<i>Orthetrum triangulare melania</i>	●										
10			ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	●										
11			ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>	●										
12			アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>	●										
13			シメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>	●										
14			リスアカネ	<i>Sympetrum risi risi</i>	●										
15			ネキトンボ	<i>Sympetrum speciosum speciosum</i>	●										
16	ゴキブリ目	ゴキブリ科	ヤマトゴキブリ	<i>Periplaneta japonica</i>	●										
17	カマキリ目	カマキリ科	オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>	●										
18	ハサミムシ目	クダスキハサミムシ科	コブハサミムシ	<i>Anechura hamandi</i>	●										
19			キバネハサミムシ	<i>Forficula mikado</i>	●										
20	バッタ目	コロギス科	ハネナシコロギス	<i>Nippaunistroger testaceus</i>	●										
21		カマドクマ科	コシタウマ	<i>Diestrammena elegantissima</i>	●										
22		ツユムシ科	セスジツユムシ	<i>Duceitia japonica</i>	●										
23			アシグロツユムシ	<i>Phaneroptera nigroantennata</i>	●										
24			ホソクビツユムシ	<i>Shirakisorina japonica</i>	●										
25		キリギリス科	コバネヒメギス	<i>Chizalla bonneti</i>	●										
26			ウスイロササキリ	<i>Conocephalus chinensis</i>	●										
27			オナガササキリ	<i>Conocephalus gladiatus</i>	●										
28			Eobiana 属の一種	<i>Eobiana</i> sp.	●										
29			ハギシノウマオイ	<i>Hexacentrus haryanai</i>	●										
30			ムサシセモンササキリモトキ	<i>Nipponomeconema musashiense</i>	●										
31			ヒメクサキリ	<i>Ruspolia dubia</i>	●										
32			ヤマヤブキリ	<i>Tettigonia yama</i>	●										
33	クワ科		クワ	<i>Gryllotalpa orientalis</i>	●										
34	マツムシ科		カンタン	<i>Decanthus longicauda</i>	●										
35	コオロギ科		エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>	●										

表. 昆虫類確認種リスト (2/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域				調査時期				確認方法			備考				
					内	外	早 春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト							
36	バツタ目	コオロギ科	ツルレサセコオロギ	<i>Velarifictorus mikado</i>	●							●								
37		アリツカコオロギ科	オオアリツカコオロギ	<i>Myrmecophilus gigas</i>		●							●							
38	ヒバリのモドキ科		マダラスズ	<i>Dianemobius nigrofasciatus</i>	●							●								
39			シバズズ	<i>Polygonemobius mikado</i>	●								●							
40	バツタ科		ヒナバツタ	<i>Glyptothorax maotimus maritimus</i>	●							●								
41			トノサマバツタ	<i>Locusta migratoria</i>	●								●							
42	ナキイナゴ		ナキイナゴ	<i>Mongolotettix japonicus</i>	●								●							
43			クルマバツタモドキ	<i>Ceduleus infernalis</i>	●									●						
44	イナゴ科		ヒロバネヒナバツタ	<i>Stenobothrus fumatus</i>	●								●							
45			コハネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>	●									●						
46	ヒシバツタ科		ヒメバキバツタ	<i>Parapodisma eisukaana</i>	●								●							
47			ハラヒシバツタ	<i>Tetrix japonica</i>	●			●						●						
48	ナナフシ目		ノミバツタ	<i>Xya japonica</i>	●									●						
49			ヤスマツヒナナフシ	<i>Micadira yasumatsui</i>	●									●						
50	チャタテムシ目		エダナフシ	<i>Phaenates illepidus</i>	●									●						
51			スジチャタテ	<i>Pseudocerastis tokyoensis</i>	●										●					
52	カメムシ目	ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ	<i>Orosigma japonicus</i>	●										●					
53		ダシバインカ科	ヒシウンカモドキ	<i>Cixiopsis punctata</i>	●											●				
54	セミ科		チツゼミ	<i>Cicadetta radiator</i>	●											●				
55			ニイニイゼミ	<i>Platypleura kaempferi</i>	●												●			
56	ツルハゼ科		ヒグラシ	<i>Tanna japonensis japonensis</i>	●											●				
57			ハルゼミ	<i>Terpsinoia vacua</i>	●												●			
58	アワキムシ科		エンゼミ	<i>Tibicen japonicus</i>	●												●			
59			トビイロツルゼミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>	●													●		
60	アワキムシ科		クロスジホリアワフキ	<i>Aphilaenus nigriceps</i>	●												●			
61			シロホリアワフキ	<i>Aphrophora intermedia</i>	●													●		
62	ヨコバエ科		モンキアワフキ	<i>Aphrophora major</i>	●													●		
63			ハマベアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>	●														●	
64	マルアワフキ		ホシアワフキ	<i>Aphrophora stictica</i>	●													●		
65			マダラアワフキ	<i>Awafukia nawae</i>	●														●	
66	ヨコバエ科		マルアワフキ	<i>Lepyronia coleoptrata</i>	●													●		
67			コシキアワフキ	<i>Peuceptylus indentatus</i>	●														●	
68	ヨコバエ科		ホリアワフキ	<i>Philaenus spumarius</i>	●														●	
69			コガシラアワフキ	<i>Foscarta assimilis</i>	●														●	
70	ヨコバエ科		ツマグラオオヨコバエ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>	●														●	
71			オオヨコバエ	<i>Cicadella viridis</i>	●															●
72	ヨコバエ科		キスジカンムリヨコバエ	<i>Evacanthus interruptus</i>	●														●	
73			マエジロオオヨコバエ	<i>Kolla atramentaria</i>	●															●
74	ヨコバエ科		オビヒメヨコバエ	<i>Naratettix zonatus</i>	●															●
75			オオキシダヨコバエ	<i>Onukigallia onukii</i>	●															●

表. 昆虫類確認種リスト (3/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考	
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト		
76	カメムシ目	ヨコバイ科	カメムシ属の一種	<i>Pagaronia</i> sp.	●	●					●	●			
77			クロヒラタヨコバイ	<i>Penthinia nitida</i>	●	●						●	●		
78			ネグロキジラミ	<i>Petalophora bicolor</i>	●	●							●	●	
79			ソラマヒゲナガアブラムシ	<i>Megoura crassicauda</i>	●	●							●	●	
80			クビゾロアカサンガメ	<i>Haematoloecha delibuta</i>	●	●							●	●	
81			オオトビサンガメ	<i>Isonda obscurus</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	
82			クロモンサンガメ	<i>Peirates turpis</i>	●	●					●	●	●	●	
83			シマサンガメ	<i>Sphecanolestes impressicollis</i>	●	●					●	●	●	●	
84			ヤニサンガメ	<i>Velinus nodipes</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	
85			チャイロクワンバイ	<i>Physatocheila orientis</i>	●	●					●	●	●	●	
86			カスミカメムシ科	カスミカメムシ属の一種	<i>Adelphocoris</i> sp.	●	●					●	●	●	
87				クロバカスミカメ	<i>Apolygus nigrifolius</i>	●	●					●	●	●	
88				モンキクワカスミカメ	<i>Deracocoris ater</i>	●	●					●	●	●	
89				シロアジヤカスミカメ	<i>Deracocoris pulchellus</i>	●	●					●	●	●	
90				アカスジオオカスミカメ	<i>Gigantomitris lupiter</i>	●	●					●	●	●	
91		コブヒゲカスミカメ	<i>Harpocera orientalis</i>	●	●					●	●	●			
92		アオアシカスミカメ	<i>Ononcus laetius</i>	●	●					●	●	●			
93		マツヒカスミカメ	<i>Phoenicocoris kyushuensis</i>	●	●					●	●	●			
94		オオクワセダカスミカメ	<i>Probosciodocoris varicornis</i>	●	●					●	●	●			
95		ナガムギカスミカメ	<i>Stenodema sibirica</i>	●	●					●	●	●			
96	マキバサシガメ科	アカマキバサシガメ	<i>Corpis brevitarsatus</i>	●	●					●	●	●			
97		ハラビロマキバサシガメ	<i>Himacerus apterus</i>	●	●					●	●	●			
98		コバネマキバサシガメ	<i>Nabis apicalis</i>	●	●						●	●	●		
99	ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus clavatus</i>	●	●					●	●	●			
100	ヘリカメムシ科	ハラビロヘリカメムシ	<i>Homococcus dilatatus</i>	●	●					●	●	●			
101		ホシハラビロヘリカメムシ	<i>Homococcus unipunctatus</i>	●	●					●	●	●			
102		オオウマキヘリカメムシ	<i>Hygia lativentris</i>	●	●						●	●	●		
103		ツマキヘリカメムシ	<i>Hygia opaca</i>	●	●					●	●	●			
104		オオヘリカメムシ	<i>Molpiteryx fuliginosa</i>	●	●					●	●	●	●		
105		アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>	●	●					●	●	●			
106		Stictopleurus属の一種	<i>Stictopleurus</i> sp.	●	●					●	●	●			
107	ナガカメムシ科	セスジナガカメムシ	<i>Arocatus melanostoma</i>	●	●					●	●	●			
108		ヒナナガカメムシ	<i>Iodinus ferrugineus</i>	●	●						●	●	●		
109		ウスイロヒラタナガカメムシ	<i>Kleidocerys resedae</i>	●	●						●	●	●		
110		チャイロナガカメムシ	<i>Neolethaeus dallasi</i>	●	●						●	●	●		
111		ヒメナガカメムシ	<i>Nysius plebeius</i>	●	●						●	●	●		
112		アムールシロヘリナガカメムシ	<i>Panaortus csikii</i>	●	●						●	●	●		
113		チャモンナガカメムシ	<i>Paradieucheus dissimilis</i>	●	●						●	●	●		
114		オオメナガカメムシ	<i>Picois varius</i>	●	●						●	●	●		
115		チャイロホソナガカメムシ	<i>Proscameus brunneus</i>	●	●						●	●	●		

表. 昆虫類確認種リスト (4/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考		
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ペト			
116	カメムシ目	ナガカメムシ科	コバネヒヨウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
117			ヒメジエウジンナガカメムシ	<i>Tropidathorax sinensis</i>	●	●			●	●	●	●	●	●		
118			ツノカメムシ科	セアツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticaudum</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	
119				エンツノカメムシ	<i>Acanthosoma expansum</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	
120				ベニモンツノカメムシ	<i>Elasmotethus humeralis</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	
121			クロヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha amurensis</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
122			キタヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha fieberii</i>	●	●				●	●	●	●	●	●	
123			エウキモンケンツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>	●	●				●	●	●	●	●	●	
124			ツチカメムシ科	ミツボシツチカメムシ	<i>Adomerus triguttulus</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	
125				ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●
126				マルツチカメムシ	<i>Microporus nigratus</i>	●	●				●	●	●	●	●	●
127				チャイロツヤツチカメムシ	<i>Panichilocoris minutus japonicus</i>	●	●				●	●	●	●	●	●
128				カメムシ科	トダカメムシ	<i>Carbula humerigera</i>	●	●			●	●	●	●	●	●
129			アオクチブトカメムシ	<i>Dinorhynchus dybowskii</i>	●	●				●	●	●	●	●	●	
130			ブチヒガカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>	●	●				●	●	●	●	●	●	
131	オオトゲシラボシカメムシ	<i>Eysarcoris lewisi</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
132	エビイロカメムシ	<i>Gonopsis affinis</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
133	クサギカメムシ	<i>Halycomorpha hahys</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
134	ヨツボシカメムシ	<i>Homalagonia obtusa</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
135	トホシカメムシ	<i>Lelia decempunctata</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
136	エンアオカメムシ	<i>Palomena angulosa</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
137	ツノアオカメムシ	<i>Pentatoma japonica</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
138	クチブトカメムシ	<i>Pteromerus lewisi</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
139	アリアシクチブトカメムシ	<i>Pinthaeus sanguinipes</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
140	チヤバネアオカメムシ	<i>Plautia crossota stali</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
141	ヒメマルカメムシ	<i>Coptosoma biguttulum</i>	●	●				●	●	●	●	●	●	長野県RDB:N		
142	アカスジキンカメムシ	<i>Poecilocoris lewisi</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
143	ナシカメムシ	<i>Urochela luteovaria</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
144	ヨツモンカメムシ	<i>Urochela quadrimotata</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
145	ヘラクサギカメムシ	<i>Urostylis annulicornis</i>	●	●				●	●	●	●	●	●			
146	アメンボ科	アメンボ	●	●				●	●	●	●	●	●			
147	アミメカゲロウ目	カマキリモドキ科	ヒメカマキリモドキ	<i>Mantispa japonica japonica</i>	●	●			●	●	●	●	●			
148			ヤマトクサカゲロウ	<i>Chrysoperla carnea</i>	●	●			●	●	●	●	●	●		
149			スズキクサカゲロウ	<i>Chrysoperla suzukii</i>	●	●				●	●	●	●	●		
150	ヒメカゲロウ科	ウスバカゲロウ科	Nineta 属の一種	<i>Nineta</i> sp.	●	●			●	●	●	●	●			
151			ヘメロビウスラジリス	<i>Heemerobius radialis</i>	●	●				●	●	●	●	●		
152			ウスマスカゲロウ	<i>Hagenomyia micans</i>	●	●				●	●	●	●	●		
153	ガガンボモドキ科	シリアガムシ目	コウスバカゲロウ	<i>Myrmeleon formicarius</i>	●	●			●	●	●	●	●			
154			キアシガガンボモドキ	<i>Bitacrus laevipes</i>	●	●				●	●	●	●	●		
155			ヤマトシリアガ	<i>Panorpa japonica</i>	●	●				●	●	●	●	●		

表. 昆虫類確認種リスト (5/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト	
156	シリアガムシ目	シリアガムシ科	ブライヤシリアガ	<i>Panoipa pyyeri</i>		●		●				●		
157	トビケラ目	トビケラ科	ムラサキトビケラ	<i>Eubasilissa regina</i>		●			●			●		
158	チョウ目	ヒロスコガ科	マダラマルヒロスコガ	<i>Hyppophritta conspersa</i>		●			●			●		
159		マルハキバガ科	クローマイコムドキ	<i>Laupyrystica igneola</i>		●			●			●		
160			マルハキバガ科の一種	Oecophoridae Gen. sp.		●		●				●		
161		スガ科	ホントガリクチブサガ	<i>Ypsolopha acuminatus</i>		●		●				●		
162			ギンズクチブサガ	<i>Ypsolopha albistriatus</i>		●			●			●		
163	スカンバガ科	コンボソスカシバ	ウチボソスカシバ	<i>Milisipepsis takizawai</i>		●			●			●		
164	ハマキガ科	ウスアトキハマキ	トウヒオオハマキ	<i>Archips semistructa</i>		●			●			●		
165			テングイラガ	<i>Lozotaenia confinana</i>		●			●			●		
166		イラガ科	ナシイラガ	<i>Microleon longipalpis</i>		●			●			●		
167			アカイラガ	<i>Narosoldeus flavidorsalis</i>		●			●			●		
168			シロシタホタルガ	<i>Phrixolepia sericea</i>		●			●			●		
169	マダラガ科	ダイムウセセリ	ニヤマセセリ	<i>Neochalcostia remota</i>		●			●			●		
170			イチョモジセセリ	<i>Daimio tethys</i>		●			●			●		
171			スジグロチヤバネセセリ	<i>Erynnis montanus</i>		●			●			●		
172			イチョモジセセリ	<i>Isoetion lamprospilus lamprospilus</i>		●			●			●		
173			スジグロチヤバネセセリ	<i>Pamara guttata guttata</i>		●			●			●		
174			ヘリグロチヤバネセセリ	<i>Thymelicus leoninus leoninus</i>		●			●			●		
175			アサギマダラ	<i>Thymelicus sylvaticus sylvaticus</i>		●			●			●		環境省RL:NT 長野県RL:VU
176	マダラチョウ科		コツバメ	<i>Panatica sita nipponica</i>		●			●			●		
177			ウラナシジミ	<i>Callophrys ferrea</i>		●			●			●		
178			ウラナシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>		●			●			●		
179			ツバシジミ	<i>Caretis acuta paracuta</i>		●			●			●		
180			ウラナシジミ	<i>Eversus argiades hellotia</i>		●			●			●		
181			ベニシジミ	<i>Lampides boeticus</i>		●			●			●		
182			ヤマトシジミ	<i>Lycœna phlaeus daimio</i>		●			●			●		
183			コムラサキ	<i>Pseudozizeeria maha argia</i>		●			●			●		
184			ツマグロヒヨウモン	<i>Apatura metis substituta</i>		●			●			●		
185			オオウラギンシジミヒヨウモン	<i>Argynnis pophia tsushimana</i>		●			●			●		
186			メスグロヒヨウモン	<i>Argyrea hyperbatus hyperbatus</i>		●			●			●		
187			スミナガン	<i>Argyrotaena rufana lysippe</i>		●			●			●		
188			ウラギンヒヨウモン	<i>Damora sagana ilone</i>		●			●			●		
189			ルリダテハ	<i>Dichorragia nesimachus nesioles</i>		●			●			●		
190			イチョモジチョウ	<i>Fabriciana adippe pallescens</i>		●			●			●		
191			クモガタヒヨウモン	<i>Kaniska canace nojapponicum</i>		●			●			●		
192			ヒオドシチョウ	<i>Ladoga camilla japonica</i>		●			●			●		
193			ヒオドシチョウ	<i>Nephargynnis amadyanene mizus</i>		●			●			●		
194			ヒオドシチョウ	<i>Neptis sappho intermedia</i>		●			●			●		
195			ヒオドシチョウ	<i>Nymphalis xanthomelus japonica</i>		●			●			●		

表. 昆虫類確認種リスト (6/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考		
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ペイト			
196	チョウ目	タテハチョウ科	シータテハ	<i>Polygonia c-album hamigeta</i>	●				●			●				
197			キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>	●				●				●			
198			オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i>	●					●			●		環境省RL:NT 長野県RL:N	
199			アカタテハ	<i>Vanessa indica</i>	●				●				●			
200			アゲハチョウ科	カラスアゲハ	<i>Papilio dehaanii dehaanii</i>	●				●				●		
201				キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>	●				●				●		
202				オナガアゲハ	<i>Papilio maelfentus</i>	●				●				●		
203				クロアゲハ	<i>Papilio protenor demetrius</i>	●				●				●		
204				ナムアゲハ	<i>Papilio xuthus</i>	●				●				●		
205				ヤマトスジクロシロチョウ	<i>Argoia dulcinea</i>	●				●				●		
206	シロチョウ科	モンキチョウ	<i>Colias erate polographus</i>	●				●				●				
207		キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>	●				●				●				
208		スジクロシロチョウ	<i>Pieris melete melete</i>	●				●				●				
209		モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	●				●				●				
210		クロヒカゲ	<i>Lethe diana diana</i>	●				●				●				
211		ジャノメチョウ科	ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>	●				●				●			
212			ツトガ	<i>Ancylobomia japonica</i>	●				●				●			
213			マツノゴマダラノメイガ	<i>Conogethes pincolalis</i>	●				●				●			
214			マエキノメイガ	<i>Herpetogramma rudis</i>	●				●				●			
215			マノメイガ	<i>Mamea vitrata</i>	●				●				●			
216	ヨスジノメイガ		<i>Pagoda quadrilineata</i>	●				●				●				
217	マエアカスカシノメイガ		<i>Papita nigropunctalis</i>	●				●				●				
218	オオキバラノメイガ		<i>Pleuropteryx harvati</i>	●				●				●				
219	マエキツノメイガ		<i>Pseudocatharylla simplex</i>	●				●				●				
220	メイガ科		ヨツボシノメイガ	<i>Tahaga quadrimaculalis</i>	●				●				●			
221		ツマグロシママイガ	<i>Aripapa indicator</i>	●				●				●				
222		キモントガリメイガ	<i>Endotricha kuznetzovi</i>	●				●				●				
223		Abraax属の一種	<i>Abraax sp.</i>	●				●				●				
224		ナカウスエダシヤク	<i>Alcis angulifera</i>	●				●				●				
225		ルリモンエダシヤク	<i>Cleora insolita</i>	●				●				●				
226		ウメエダシヤク	<i>Cystidia couagaria</i>	●				●				●				
227		トンボエダシヤク	<i>Cystidia stratonice</i>	●				●				●				
228		ハスオビエダシヤク	<i>Descorebia simplex</i>	●				●				●				
229		ウストビスジエダシヤク	<i>Ectropis agniet</i>	●				●				●				
230	フタシロスジナミシヤク	<i>Epirrhoe supergressa supergressa</i>	●				●				●					
231	ウスオビヒメエダシヤク	<i>Euchristophia cumulata cumulata</i>	●				●				●					
232	ハネナガカバナミシヤク	<i>Eupithecia takao</i>	●				●				●					
233	シロシタトビイロナミシヤク	<i>Heterothera postalbida</i>	●				●				●					
234	ニッロウエダシヤク	<i>Lassaba nikkonis</i>	●				●				●					
235	シロオビヒメエダシヤク	<i>Lomaspilis marginata opis</i>	●				●				●					

表. 昆虫類確認種リスト (7/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考		
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト			
236	チョウ目	シヤクガ科	フタホシシロエダシヤク	<i>Lomographa bimaculata subnotata</i>	●		●					●				
237			クロズウスキエダシヤク	<i>Lomographa simplicior simplicior</i>	●				●				●			
238			ハラシロエダシヤク	<i>Lomographa tenera</i>			●									
239			コカハシシナシヤク	<i>Martania fulvica</i>			●									
240			ツノミアオシヤク	<i>Maxates ambigua</i>			●									
241			ウスキツバエダシヤク	<i>Ourapteryx atrea</i>			●									
242			アトジロエダシヤク	<i>Pachyligita dolosa</i>			●									
243			ウスアオエダシヤク	<i>Parabapta clarissa</i>			●									
244			シダエダシヤク	<i>Petrophora chlorosata</i>			●									
245			コナフキエダシヤク	<i>Plagadis pulveraria japonica</i>			●									
246			ウスハシキエダシヤク	<i>Pseudramnis lomozeana</i>			●									
247			サカハチクロクオミシヤク	<i>Rheumaptera hecate hecate</i>			●									
248			ハズルマエダシヤク	<i>Synegetia hadassa hadassa</i>			●									
249			ナナシジナシヤク	<i>Venusia phasma</i>			●									
250			フタビスジナシヤク	<i>Xanthoche hortensaria</i>			●									
251			ミスジツマキリエダシヤク	<i>Xerodes rufescentaria</i>			●									
252			イカリモンガ	<i>Pterodactyl felderi</i>			●									
253			カオコガ科	スカンサン			●									
254			オビガ科	オビガ			●									
255			ヤマユコガ科	オナガミアオ			●									堺境省RL:NT
256				エソヨツム			●									
257				ウスダビガ			●									
258				クスサン			●									
259			スズメガ科	クロテンケンモンズメ			●									
260				マツクロズメ			●									
261			シヤチホコガ科	ハイバシシロシヤチホコ			●									
262				アオバシヤチホコ			●									
263	ヒトリガ科	ハガタバエニコケガ			●											
264		アカスジシロケガ			●											
265		ムジホソバ			●											
266		キシタホソバ			●											
267		ヨツボシホソバ			●											
268		ベニヘリコケガ			●											
269		アカハラヨモダラヒトリ			●											
270	カノコガ科	カノコガ			●											
271	ドクガ科	エルモンドクガ			●											
272		マイマイガ			●											
273		ハラアカマイマイ			●											
274		カシワマイマイ			●											
275		ナンネマイマイ			●											

表. 昆虫類確認種リスト (8/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考	
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ペイト		
276	チョウ目	ヤガ科	カブラヤガ	<i>Agrotis segetum</i>	●			●				●			
277			オオカブラヤガ	<i>Agrotis tokionis</i>		●				●			●		
278			オオウスジマカラスヨトウ	<i>Amphipyra erabina</i>		●				●				●	
279			カラスヨトウ	<i>Amphipyra livida conrina</i>		●				●				●	
280			シマカラスヨトウ	<i>Amphipyra pyramidea yama</i>		●					●			●	
281			ツマジロカラスヨトウ	<i>Amphipyra schrenckii</i>		●				●				●	
282			ウリキンウワバ	<i>Anadevidia peponis</i>		●					●			●	
283			フクラスズメ	<i>Arcte coerulea</i>		●				●				●	
284			クロハナコヤガ	<i>Aventiata pusilla</i>			●			●				●	
285			ネグロヨトウ	<i>Chytonix albonotata</i>			●			●				●	
286			ハナオイエソバ	<i>Cidaripuma gladiata</i>			●			●				●	
287			キンイロキリガ	<i>Clavipalpus aurariae</i>		●				●				●	
288			ミツモンキンウワバ	<i>Ctenoplistis aenata</i>			●			●				●	
289			エンキクキンウワバ	<i>Ctenoplistis albostrigata</i>		●					●			●	
290			ケンモンキリガ	<i>Egira saxea</i>			●			●				●	
291			クロクモヤガ	<i>Hermomassa cecilia</i>		●					●			●	
292			ソトウスグロアツバ	<i>Hydrotides lentalis</i>		●				●				●	
293			ミカドアツバ	<i>Lophomilia flavipalpa</i>			●			●				●	
294			ヒメクビクククツバ	<i>Lygephila recta</i>		●				●				●	
295			シロスジトモエ	<i>Metoptia rectifasciata</i>			●			●				●	
296			フサキバアツバ	<i>Mesopia sordida</i>		●				●				●	
297			ホソシキリガ	<i>Orthostia angustipennis</i>			●			●				●	
298			カバキリガ	<i>Orthostia evanida</i>			●			●				●	
299			カラフトゴマケンモン	<i>Panthea coenobita idae</i>		●				●				●	
300			テングアツバ	<i>Ritula sericealis</i>		●				●				●	
301			カバシジヤガ	<i>Sineugraphe exusta</i>			●			●				●	
302			スジキリヨトウ	<i>Spodoptera depravata</i>		●				●				●	
303			アヤシブクツバ	<i>Synonides hercules</i>		●				●				●	
304			シラフクツバ	<i>Synonides picta</i>			●			●				●	
305			キンタミドリヤガ	<i>Xestia efflorescens</i>		●				●				●	
306			ナカグロヤガ	<i>Xestia undosa</i>		●				●				●	
307			キバラモクメキリガ	<i>Xylena formosa</i>			●			●				●	
308			コバヒゲアツバ	<i>Zanclognatha lunalis</i>		●				●				●	
309			ギンボシリンガ	<i>Ariolica argentea</i>		●				●				●	
310	ハイイロリンガ	<i>Gabala argentata</i>			●			●				●			
311	ヒメコブガ	<i>Nola confusalis</i>			●			●				●			
312	ミカドガガンボ	<i>Ctenacrosceles mikado</i>		●				●				●			
313	Nephrotoma属の一種	<i>Nephrotoma</i> sp.		●				●				●			
314	Tipula属の一種	<i>Tipula</i> sp.		●				●				●			
315	Ctenophorini族の一種	Ctenophorini Gen. sp.		●				●				●			

表. 昆虫類確認種リスト (9/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト	
316	ハエ目	Plecidae	ヒメアガハエ	<i>Penthetria japonicum</i>	●			●				●		
317			エンボシムシ	<i>Actinia jezoensis</i>	●			●				●		
318		ミスアブ科	コウカアブ	<i>Plecoicus tenebrifer</i>		●							●	
319			ルリミスアブ	<i>Sargus nipponensis</i>		●				●			●	
320		アブ科	クロキンメアブ	<i>Chrysops japonicus</i>		●							●	
321			ヤマトアブ	<i>Tabanus rufidens</i>			●						●	
322		ムシヒキアブ科	トラフムシヒキ	<i>Astochia virgatipes</i>		●							●	
323			イシキイシアブ	<i>Choreades issihiki</i>		●							●	
324			コムライシアブ	<i>Choreades komurae</i>		●							●	
325			アオムアブ	<i>Cophinopoda chinensis</i>		●							●	
326			サツボロアブ	<i>Molobrotia sapporensis</i>		●							●	
327			シオヤアブ	<i>Promachus yezoensis</i>		●							●	
328			ソリアブ科	ビロウドリアブ	<i>Bombylius major</i>		●						●	
329			アシナガバエ科	マダラアシナガバエ	<i>Sciapus nebulosus</i>		●						●	
330				ハナアブ科	ニッポンクハナアブ	<i>Betasyrphus nipponensis</i>		●						●
331					Cheilosia属の一種	<i>Cheilosia</i> sp.		●						●
332				オオヒナガハナアブ	<i>Chrysotoxum grande</i>		●						●	
333				ヒガナガハナアブ	<i>Chrysotoxum shirakii</i>		●						●	
334				ヘリハラアブ	<i>Didea alneti</i>		●						●	
335				ホソハラアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>		●						●	
336				シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>		●						●	
337				ナミハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>		●						●	
338				ナミホシハラアブ	<i>Eupeodes bucculatus</i>		●						●	
339				フタホシハラアブ	<i>Eupeodes corollae</i>		●						●	
340				アシトハナアブ	<i>Helophilus vitigatus</i>		●						●	
341				トゲミクハナアブ	<i>Mallota tricolor</i>		●						●	
342				オオホシハラアブ	<i>Megasyrphus erraticus</i>		●						●	
343				ミナミホシハラアブ	<i>Sphaerophoria indiana</i>		●						●	
344				ホソハラアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>		●						●	
345				スズキナガハナアブ	<i>Spilomyia suzukii</i>		●						●	
346				オオフタホシハラアブ	<i>Syrphus ribesii</i>		●						●	
347				キイロナミホシハラアブ	<i>Syrphus vitripennis</i>		●						●	
348				ニトベソッコウハナアブ	<i>Volucella linearis</i>		●						●	
349				シロスジベッコウハナアブ	<i>Volucella pellucens tabanoideus</i>		●						●	
350		メバエ科		マダラメバエ	<i>Myopa boreata</i>		●						●	
351	ベッコウバエ科		ベッコウバエ	<i>Dryomyza formosa</i>		●						●		
352			トゲベッコウバエ	<i>Steyskalomyza hasegawai</i>		●						●		
353	シマバエ科		ヒラヤシマバエ	<i>Homoneura hirayanae</i>		●						●		
354	デガシラバエ科		ミツモンハチモドキバエ	<i>Paradopsilia trimaculata</i>		●						●		
355	ミバエ科		タンボウハハナアブ	<i>Hemilea infusata</i>		●						●		

表. 昆虫類確認種リスト (10/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考			
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト				
356	ハエ目	ミバエ科	シラホシハマダラミバエ	<i>Leitovena trigona</i>	●			●			●						
357			ハルササハマダラミバエ	<i>Pangastrozona japonica</i>	●		●					●					
358		クロバエ科	オオクロバエ	<i>Calliphora lata</i>		●											
359			ホホクロオビキンバエ	<i>Chrysomya pinguis</i>		●											
360		イエバエ科	トウキヨウキンバエ	<i>Hemipyrellia liguricens</i>		●				●							
361			ツマグロキンバエ	<i>Stomoxia obsoleta</i>		●			●								
362			オオクワイエバエ	<i>Folices nigrolimbatus</i>		●			●								
363			ニクバエ科	Sarcophaga 属の一種	<i>Sarcophaga sp.</i>		●										
364			ヤドリバエ科	シナヒラタハナバエ	<i>Ectophasia rotundiventris</i>		●										
365				ヨロジマオオハリバエ	<i>Tachina jakovlevi</i>		●			●							
366				セズシハリバエ	<i>Tachina nupta</i>		●										
367			オサムシ科	タンゴヒラタゴミムシ	<i>Agonum leucopus</i>	●				●							
368				ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>		●			●							
369				メダカチビカワゴミムシ	<i>Asaphidion semilucidum</i>		●			●						●	
370		マルヒメゴキムシ		<i>Bradycellus fimbriatus</i>		●				●							
371		アカガネアオゴミムシ		<i>Chlaenius absterius</i>		●				●							
372		コハラアカモリヒラタゴミムシ		<i>Colpodes lampros</i>		●			●						●		
373	ヒメマイマイカブリ	<i>Damaster blaptoides oxuroides</i>			●				●								
374	セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>			●				●								
375	ベーツホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius batesi</i>			●				●								
376	ホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius prolixus</i>			●				●								
377	ダクモウチビヒョウタンゴミムシ	<i>Dyschirius ovicollis</i>			●				●								
378	ケウスゴモクムシ	<i>Harpalus griseus</i>			●				●								
379	フタバシアトキリゴミムシ	<i>Lebia bifemestrata</i>			●				●								
380	ジュウジアトキリゴミムシ	<i>Lebia retrofasciata</i>			●				●								
381	ヤホシゴミムシ	<i>Lebidia octoguttata</i>			●				●								
382	クロナガオサムシ	<i>Leptocarabus procerulus procerulus</i>			●				●						●		
383	ミヤマダカゴミムシ	<i>Notiphilus impressifrons</i>			●				●						●		
384	エサキオサムシ	<i>Ohomopterus albrechti esakianus</i>		●				●						●			
385	オオヨツアアトキリゴミムシ	<i>Parena perforata</i>		●				●									
386	ミツアアトキリゴミムシ	<i>Parena tripunctata</i>		●				●									
387	ダクモウツバゴミムシ	<i>Pentagonica daimiella</i>		●				●									
388	クロズホナシゴミムシ	<i>Perigona nigriceps</i>		●				●									
389	ニッコビヒメナゴミムシ	<i>Pterostichus polygenus</i>		●				●						●			
390	マルガタナゴミムシ	<i>Pterostichus subovatus</i>		●				●						●			
391	マルガツツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>		●				●						●			
392	クロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus cycloclerus</i>		●				●						●			
393	ヒラタゴミズギワゴミムシ	<i>Tachyura exarata</i>		●				●						●			
394	ヨツモンゴミズギワゴミムシ	<i>Tachyura laetifica</i>		●				●						●			
395	ムラサキオオゴミムシ	<i>Trigonognatha coreana</i>		●				●						●			

表. 昆虫類確認種リスト (11/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域				調査時期				確認方法			備考		
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト					
396	コウチュウ目	ダンゴロウ科	マメダンゴロウ	<i>Agabus japonicus</i>	●								●					
397			チビダンゴロウ	<i>Hydroglyphus japonicus</i>	●								●					
398		ナガヒラタムシ科	ナガヒラタムシ		<i>Tenogramma mucida</i>		●							●			長野県RL:DD	
399			アカケンガムシ		<i>Ceryon olivinus</i>	●								●				
400		エンマムシ科	キベリヒラタガムシ		<i>Enochrus japonicus</i>	●								●				
401			コエンマムシ		<i>Margarinotus niponicus</i>		●									●		
402			タマキノコムシ科	マルムネタマキノコムシ		<i>Agathidium crassicorne</i>		●								●		
403			シデムシ科	オオヒラタシデムシ		<i>Eusilpha japonica</i>	●	●							●			
404				マエモンシデムシ		<i>Nicrophorus maculifrons</i>		●								●		長野県RL:NT
405			ハネカクシ科	ナガアカヒガムシ	ハネカクシ	<i>Alaocnara curtula</i>	●									●		
406				ムネヒロハネカクシ		<i>Alaon grandicollis</i>	●									●		
407				セズジハネカクシ		<i>Anotylus cognatus</i>	●									●		
408				キバネニセユミシノハネカクシ		<i>Carpelinus shimensis</i>	●									●		
409				ツマグロアカハハネカクシ		<i>Hesperus tiro</i>		●								●		
410			ニセトガリハネカクシ		<i>Isocheilus staphylinoides</i>	●									●			
411			キバネナガハネカクシ		<i>Leptophallus suffusus</i>	●									●			
412			クロストガリハネカクシ		<i>Lithochorus nigriceps</i>	●									●			
413			チビクロモンキノコハネカクシ		<i>Lordithon niponicus</i>		●								●			
414			コアリガタハネカクシ		<i>Megalopaederus lewisi</i>		●								●			
415			アバタコバネハネカクシ		<i>Nazaris wollastoni wollastoni</i>	●									●			
416			ツマキツヤナガハネカクシ		<i>Nudobius apicipennis</i>	●									●			
417			クロサビイロハネカクシ		<i>Ocyopus lewisii</i>	●									●			
418			オオバアリガタハネカクシ		<i>Paederus fuscipes</i>		●								●			
419			エンアリガタハネカクシ		<i>Paederus parallelus</i>		●								●			
420			Philonthus属の一種		<i>Philonthus</i> sp.		●								●			
421		オオヒラタハネカクシ		<i>Pseustonius lewisii</i>		●								●				
422		ユクリデオキノコムシ		<i>Scaphidium emarginatum</i>		●								●				
423		ヤマトクビボンハネカクシ		<i>Silicoderus japonicus</i>		●								●				
424		キベリマルクビハネカクシ		<i>Tachinus mimulus</i>		●								●				
425		ヒゲブトマルクビハネカクシ		<i>Tachinus nakanei</i>		●								●				
426	クワガタムシ科	スジクワガタ		<i>Dorcus binervis binervis</i>	●									●				
427		コクワガタ		<i>Dorcus rectus rectus</i>		●								●				
428	コガネムシ科	コイチヤコガネ		<i>Adoretus tenuicollatus</i>		●								●				
429		オオスジコガネ		<i>Anomala costata</i>	●									●				
430		サクラコガネ		<i>Anomala daibiana</i>	●									●				
431		ヒメコガネ		<i>Anomala rufocuprea</i>	●									●				
432		スジコガネ		<i>Anomala testaceipes</i>	●									●				
433		オオツヤマガノコガネ		<i>Aphodius rufipes</i>	●									●				
434		ウスイロマガノコガネ		<i>Aphodius sublimbatus</i>	●									●				
435		コアオハナムグシ		<i>Gametes bicunda</i>	●									●				

表. 昆虫類確認種リスト (12/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考	
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ペト		
436	コウチュウ目	コガネムシ科	コヒダシマビロウドコガネ	<i>Gastroseica brevicornis</i>	●	●			●			●			
437			ナガチヤコガネ	<i>Heterophylla picea</i>	●	●			●			●			
438			クロコガネ	<i>Holotrichia kiotoensis</i>	●	●			●				●		
439			クロマルエンマコガネ	<i>Onthophagus ater</i>	●	●			●				●		
440			ツヤエンマコガネ	<i>Onthophagus nitidus</i>	●	●			●				●		
441			ウスチヤコガネ	<i>Phyllopertha diversa</i>	●	●			●				●		
442			マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>	●	●			●				●		
443			シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis submarmorea</i>	●	●			●				●		
444			アオカナブン	<i>Rhomborhina unicolor unicolor</i>	●	●			●				●		
445			ヒゲナガビロウドコガネ	<i>Sericia boops</i>	●	●			●				●		
446			Sericania属の一種	<i>Sericania sp.</i>	●	●			●				●		
447			カブトムシ	<i>Trypoxylus dichotomus septentrionalis</i>	●	●			●				●		
448			タマムシ科	クロヒメヒラタタマムシ	<i>Anthaxia reticulata</i>	●	●			●			●		
449			ウハタマムシ	<i>Chalcophora japonica japonica</i>	●	●			●				●		
450			ヤマトタマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>	●	●			●				●		長野県RL:YU
451			ナガヒラタチビタマムシ	<i>Habroloma yuasa</i>	●	●			●				●		
452			Toxoscelus属の一種	<i>Toxoscelus sp.</i>	●	●			●				●		
453			クズノチビタマムシ	<i>Trachys auricollis</i>	●	●			●				●		
454			サビキコリ	<i>Agrypnus bicodulus binodulus</i>	●	●			●				●		
455			ヒメサビキコリ	<i>Agrypnus scrofa scrofa</i>	●	●			●				●		
456			ニホンハベニコマツキ	<i>Denticollis nipponensis nipponensis</i>	●	●			●				●		
457			オオハナコマツキ	<i>Dicronychus nothus</i>	●	●			●				●		
458			チヤイロコマツキ	<i>Heterumelater bicarinatus bicarinatus</i>	●	●			●				●		
459			ヒラタクロクシコマツキ	<i>Melanotus correctus correctus</i>	●	●			●				●		
460			クシコマツキ	<i>Melanotus legatus legatus</i>	●	●			●				●		
461			ヒゲコマツキ	<i>Pectocera hige hige</i>	●	●			●				●		
462			ヒラタクシコマツキ	<i>Spheniscosonus kolkei</i>	●	●			●				●		
463			オオツヤハダコマツキ	<i>Stenogostus umbratilis</i>	●	●			●				●		
464			オハボタル	<i>Lucidina biplagiata</i>	●	●			●				●		
465			ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>	●	●			●				●		
466			マキムシモトキ科	<i>Pelastica amurensis</i>	●	●			●				●		
467			カソウコムシ科	<i>Stigmatium nakanei</i>	●	●			●				●		
468			ジヨウカイモトキ科	<i>Malachus prolongatus</i>	●	●			●				●		
469			ツツシクイ科	<i>Hydrocoetes libellulicornis</i>	●	●			●				●		
470			テントウムシ科	<i>Anatis halensis</i>	●	●			●				●		
471				<i>Calvia quatuordecimguttata</i>	●	●			●				●		
472				<i>Chilocorus kuwanae</i>	●	●			●				●		
473				<i>Coccinella septempunctata</i>	●	●			●				●		
474				<i>Harmonia axyridis</i>	●	●			●				●		
475				<i>Propylaea japonica</i>	●	●			●				●		

表. 昆虫類確認種リスト (13/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考	
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト		
476	コウチュウ目	テントウムシ科	オニメテントウ	<i>Scymnus giganteus</i>	●				●						
477			クロヒメテントウ	<i>Scymnus posticalis</i>	●				●						
478			クロナギテントウ	<i>Serangium japonicum</i>	●				●						
479		キスライムシ科	ジエウロクホシテントウ	<i>Sospita oblongoguttata</i>	●				●						長野県RL:YU
480			キイロセマルキスライ	<i>Atomaria lewisi</i>	●				●			●			
481			ナガマルキスライ	<i>Atomaria punctatissima</i>	●				●			●			
482		ヒラタムシ科	マルガタキスライ	<i>Curelius japonicus</i>	●				●						
483			ベニヒラタムシ	<i>Cucujus coccinatus</i>	●				●						
484			ヨツボシテントウダマシ	<i>Ancylopus pictus asiaticus</i>	●				●						
485		テントウムシダマシ科	オオオキスライ	<i>Melolontha ceraspunctata</i>	●				●						長野県RL:NT
486		オオオキスライムシ科	ミドリオオキスライ	<i>Lauguriomorpha lewisi</i>	●				●						
487		クシキスライ科	コモンキモトキ	<i>Carpophilus chalybeus</i>	●				●						
488			クシキスライ	<i>Epuraea parilis</i>	●				●						
489			ホソキヒラタケンキスライ	<i>Haptoncus ocularis</i>	●				●						
490		アカハラケンキスライ科	モンチヒヒラタケンキスライ	<i>Librodor ipsoides</i>	●				●						
491	アカハラケンキスライ		<i>Librodor rufiventris</i>	●				●							
492	ツツオニケンキスライ		<i>Librodor subcylindricus</i>	●				●							
493	ムネアカチビケンキスライ科	ムネアカチビケンキスライ	<i>Meligethes flavicollis</i>	●				●							
494		チャイロチビケンキスライ	<i>Meligethes shimoyamai</i>	●				●							
495		ネアカマルケンキスライ	<i>Neopallodes inermis</i>	●				●							
496	ホソヒラタムシ科	ヒメフタトゴホヒラタムシ	<i>Silvanus lewisi</i>	●				●						外来種	
497	アリモトキ科	アカホソアリモトキ	<i>Stricticomus fuscus</i>	●				●							
498	クビナガムシ科	クビナガムシ	<i>Cephaloon pallens</i>	●				●							
499		マダラホソカタムシ	<i>Trachypholis variegata</i>	●				●							
500		ナガクチキムシ科	キイロソナガクチキ	<i>Serropalpus barbatus</i>	●				●						
501	ハナハシ科	ヒメソナガクチキ	<i>Serropalpus marseili</i>	●				●							
502		クロメハナハシ	<i>Mordellistena canes</i>	●				●							
503		コキノコムシ科	コマダラコキノコムシ	<i>Mycetophagus pustulosus</i>	●				●						
504	カミキリモトキ科	モモアトカミキリモトキ	<i>Oedemera lucidicollis lucidicollis</i>	●				●							
505		ゴミシムシ科	オオクチキムシ	<i>Allecula fuliginosa</i>	●				●						
506		ホソアカクチキムシ	<i>Allecula tenuis</i>	●				●							
507	アリモトキ科	クリイロクチキムシ	<i>Borborosches acicularis</i>	●				●							
508		コマルキマアリ	<i>Elixota curva</i>	●				●							
509		スナゴミシムシ	<i>Gonocephalum japonum</i>	●				●							
510	フナガクチキムシ科	スジゴシラゴミシムシ	<i>Heterostus carinula</i>	●				●							
511		フナガクチキムシ	<i>Isomira oculata</i>	●				●							
512		ハムシダマシ	<i>Lagria rufipennis</i>	●				●							
513	ナガハムシ科	ヒゲアトゴミシムシ	<i>Luprops orientalis</i>	●				●							
514		ナガハムシ	<i>Macrolagria rubrorumnea</i>	●				●							
515		クロツキノコムシ	<i>Playdema nigroaeneum</i>	●				●							

表. 昆虫類確認種リスト (14/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト	
516	コウチュウ目	ゴミムシダマシ科	キマアリ	<i>Plestiophthalmus nigrocyanus nigrocyanus</i>	●	●						●		
517		カミキリムシ科	エグリゴミムシダマシ	<i>Uloana marseuli marseuli</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
518			ピロウドカミキリ	<i>Acalolepta fraudatrix fraudatrix</i>	●									
519		ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>			●								
520		アカハナカミキリ	<i>Aradolpona succedanea</i>			●								
521		サバカミキリ	<i>Arhopalus coreanus</i>			●							●	
522		エグリトラカミキリ	<i>Chlorophonus japonicus</i>			●								●
523		ホソカミキリ	<i>Distenia gracilis gracilis</i>			●								●
524		ヒメゲナガカミキリ	<i>Monochamus subfasciatus subfasciatus</i>			●								●
525		ヘリグロリンゴカミキリ	<i>Nipserha marginella</i>			●								●
526		ホソキリンゴカミキリ	<i>Oberea infranigriscens</i>			●								●
527		マルガタハナカミキリ	<i>Pachytodes cometes</i>			●								●
528		キボシカミキリ	<i>Psacotha hilaris hilaris</i>			●								●
529		クスベニカミキリ	<i>Pyrestes nipponicus</i>			●								●
530		ホソトラカミキリ	<i>Rhaphuma xenisca</i>			●								●
531		クロカミキリ	<i>Spondylis buprestoides</i>			●								●
532		アカガネサルハムシ	<i>Acrothitium gashkevitchii gashkevitchii</i>			●								●
533		ツブノミハムシ	<i>Aphthona perminuta</i>			●								●
534		ムナグロツキハムシ	<i>Arthrotus niger</i>			●								●
535		ウリハムシモドキ	<i>Atrachya menetriesi</i>			●								●
536		アオハネサルハムシ	<i>Basilepta fulvipes</i>			●								●
537		セモンジンガサハムシ	<i>Cassida versicolor</i>			●								●
538		ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>			●								●
539		ヤナギハムシ	<i>Chrysomela vigintipunctata</i>			●								●
540		カタビロハムシ	<i>Colobaspis japonicus</i>			●								●
541		キアシノリツツハムシ	<i>Cryptoccephalus fortunatus</i>			●								●
542		クワハムシ	<i>Plectiaxia armata</i>			●								●
543		イタドリハムシ	<i>Galerucida bifasciata</i>			●								●
544		ムツキボシハムシ	<i>Gallerucida lewisi</i>			●								●
545		フジハムシ	<i>Gonocotena rubripennis</i>			●								●
546		ヨツキボシハムシ	<i>Hamushia eburata</i>			●								●
547		キオビクビボシハムシ	<i>Lema delicatula</i>			●								●
548		スゲクビボシハムシ	<i>Lema dilecta</i>			●								●
549		アカクビボシハムシ	<i>Lema diversa</i>			●								●
550		ホソクビボシハムシ	<i>Lilioceris parvicollis</i>			●								●
551		キイロクビボシハムシ	<i>Lilioceris rugata</i>			●								●
552		ヒヨドリバナアサシナガトビハムシ	<i>Longitarsus nitidicollis</i>			●								●
553		トウガネツキハムシ	<i>Omorphoides cupreatus</i>			●								●
554		フタクサハムシ	<i>Ophraella communa</i>			●								●
555		イネクビボシハムシ	<i>Oulema oryzae</i>			●								●

表. 昆虫類確認種リスト (15/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考		
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ベイト			
556	コウチュウ目	ハムシ科	アトボシハムシ	<i>Paridea angulicollis</i>	●			●	●			●				
557			アカタデハムシ	<i>Pyrrhalta semilivida</i>	●			●					●			
558			カタクリハムシ	<i>Sanguinolenta punctatostriata</i>			●							●		
559			ムナギルハムシ	<i>Sinangolina seminuraitaica</i>			●								●	
560			イチモンジカメコハムシ	<i>Thlaspidia cribrata</i>			●								●	
561			シロヒガナガゾウムシ	<i>Platystanos sellatus sellatus</i>			●								●	
562			カオジロヒガナガゾウムシ	<i>Sphinctotropis laxa</i>			●								●	
563			ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus erythrogaster</i>			●								●	
564			オトシブミ	<i>Apoderus jekeli</i>		●									●	
565			ウスアカオトシブミ	<i>Apoderus rubidus</i>		●									●	
566			カシロオトシブミ	<i>Eucops splendidus</i>		●									●	
567			リュウイスアシナガオトシブミ	<i>Fenicolabus lewisii</i>		●									●	
568			ゴマダラオトシブミ	<i>Paraphaederus pardalis</i>		●									●	
569			イチゴハナゾウムシ	<i>Anthrenomus bisignifer</i>		●									●	
570			ホシメカダゾウムシ	<i>Asphaltinus japonicus</i>		●									●	
571			ツツウムシ	<i>Carcilia strigicollis</i>		●									●	
572			ハスジクチカクシゾウムシ	<i>Cryptorhynchus fasciculatus</i>		●									●	
573	コフキノウムシ	<i>Eugenathus distinctus</i>		●									●			
574	タデトガサルゾウムシ	<i>Homorosoma asperum</i>		●									●			
575	マツアナアキノウムシ	<i>Hylobius haroldi</i>		●									●			
576	キスジアシナガゾウムシ	<i>Merus flavosignatus</i>		●									●			
577	カシロクチブトゾウムシ	<i>Mylocerus griseus</i>		●									●			
578	クロゴゾウムシ	<i>Niphades variegatus</i>		●									●			
579	マツチヤイロキクイノウムシ	<i>Ochtronanus pallidus</i>		●									●			
580	カシロミノウムシ	<i>Orchestes japonicus</i>		●									●			
581	アガアシミノウムシ	<i>Orchestes sanguinipes</i>		●									●			
582	ホソアナアキノウムシ	<i>Pimelocerus elongatus</i>		●									●			
583	カキノウムシ	<i>Pseudocneorhinus obesus</i>		●									●			
584	クワヒヨウタンノウムシ	<i>Scepticus insularis</i>		●									●			
585	コマツシラホシゾウムシ	<i>Shirahoshizo pini</i>		●									●			
586	オオゾウムシ	<i>Sipalilus gigas gigas</i>		●									●			
587	マツホソスジキクイムシ	<i>Hyalastes parallelus</i>		●									●			
588	Scolytoplatus属の一種	<i>Scolytoplatus</i> sp.		●									●			
589	カシロキクイムシ	<i>Trypodendron signatum</i>		●									●			
590	ハチ目	ヒラタハハバチ科	Pamphilus属の一種	<i>Pamphilus</i> sp.	●									●		
591	ミフシハハバチ科	ルリチ ヌウレンジ			●									●		
592	ハハバチ科	ハダロハハバチ			●									●		
593		セグロカブラハハバチ			●									●		
594		カブラハハバチ			●									●		
595		オスグロハハバチ			●									●		

表. 昆虫類確認種リスト (16/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考	
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	ペト		
596	ハチ目	ハバチ科	ツマジロクロハバチ	<i>Macrophya apicalis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
597			オオクワハバチ	<i>Macrophya carbonaria</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
598			オクタニキモンハバチ	<i>Pachyproctus okutani</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
599			ササベキモンハバチ	<i>Pachyproctus sasabensis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
600			ヒガナグクロハバチ	<i>Phymatocera nipponica</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
601			ナカアサシダハバチ	<i>Strongylogaster blechni</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
602			アオメツマグロハバチ	<i>Tenthredo basizonata</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
603			ムラサキウスアメハチ	<i>Dicyonotus purpurascens</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
604			クロゴブシヒメハチ	<i>Dolichomitus macropunctatus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
605			Dolichomitus属の一種	<i>Dolichomitus</i> sp.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
606	コンボウアメハチ	<i>Habronyx insidiator</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
607	ナカヒメハチ	<i>Protichneumon nakanensis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
608	ツマグロクンヒメハチ	<i>Spilopteron apicalis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
609	ヤマトアシナガアリ	<i>Aphaenogaster japonica</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
610	クロオオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
611	ムネアカオオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
612	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
613	トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
614	クサアリモドキ	<i>Lasius spathopus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
615	シロクシケアリ	<i>Myrmica kotokui</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
616	アメイアリ	<i>Panarchina flavipes</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
617	アズマオオアリ	<i>Pheidole fervida</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
618	トビイロシリアアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
619	ケブカスジドロバチ	<i>Ancistrocerus melanocerus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
620	ヤマトフタスジスズバチ	<i>Discoelius japonicus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
621	ミカドトツクリバチ	<i>Eumenes micado</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
622	スズバチ	<i>Oreumenes decoratus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
623	カタグロチビドロバチ	<i>Stenodynerus chinensis similinus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
624	ムモンボリアシナガハチ	<i>Parapolybia indica indica</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
625	ヒメボリアシナガハチ	<i>Parapolybia varia</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
626	キボシアシナガハチ	<i>Polistes nipponensis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
627	キアシナガハチ	<i>Polistes rothneyi iwatai</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
628	コアシナガハチ	<i>Polistes snelleni</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
629	コガタスズメバチ	<i>Vespa analis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
630	オオスズメバチ	<i>Vespa mandarina</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
631	キイロスズメバチ	<i>Vespa similina</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
632	シダクロスズメバチ	<i>Vespula shidai</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
633	トガアシオオクモバチ	<i>Proctemris irritabilis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
634	ムネアカアリバチ	<i>Bischoffilla pungens</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
635	アキコツチバチ	<i>Tiphia autumnalis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			

表. 昆虫類確認種リスト (17/17)

番号	目名	科名	和名	学名	対象事業 実施区域		調査時期				確認方法			備考	
					内	外	早春	春	夏	秋	任意	ライト	べト		
636	ハチ目	コツチバチ科	ニカコツチバチ	<i>Tiphia sternata</i>	●						●				
637		ツチバチ科	コモンツチバチ	<i>Scolia deconata ventralis</i>	●				●		●				
638		ギンガバチ科	ニトベギンガチ	<i>Spadicocera nitobei</i>	●				●		●				環境省RL:DD
639		フシダカバチ科	ヒメツチスガリ	<i>Cerensis cutinalis</i>	●				●		●				
640			ニッポンツチスガリ	<i>Cerensis nipponensis</i>	●					●					
641		アナバチ科	ヤマジガバチ	<i>Amnophila infesta</i>	●				●		●				
642		ヒメハナバチ科	ヤマトヒメハナバチ	<i>Andrena hebes</i>	●		●				●				
643			カオジロヒメハナバチ	<i>Andrena hondoica</i>	●					●					
644			キバチヒメハナバチ	<i>Andrena knuthii</i>	●				●		●				
645			ヤマトヒメハナバチ	<i>Andrena yamato</i>	●				●		●				
646			ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>	●					●					
647			セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>	●					●					外来種
648			コマルハナバチ	<i>Bombus ardens ardens</i>	●					●					
649			トラマルハナバチ	<i>Bombus diversus diversus</i>	●					●					
650			オオマルハナバチ	<i>Bombus hypocrita hypocrita</i>	●					●					
651			ヤマトツヤハナバチ	<i>Geratina japonica</i>	●					●					
652			ニッポンヒゲナガハナバチ	<i>Eucera nipponensis</i>	●					●					
653			ハリマキマダラハナバチ	<i>Nomada haitimensis</i>	●					●					
654		ムカシハナバチ科	オオムカシハナバチ	<i>Colletes collaris</i>	●						●				
655			アシトムカシハナバチ	<i>Colletes patellatus</i>		●					●				
656			ヒヨットコメンハナバチ	<i>Hybaeus paradiiformis</i>	●						●				
657		コハナバチ科	アカガネコハナバチ	<i>Halictus aeratus</i>	●					●					
658			ニッポンカクコハナバチ	<i>Lastioglossum nipponicola</i>	●						●				
659			シロスジカクコハナバチ	<i>Lastioglossum occidens</i>	●						●				
660		ハキリバチ科	フルカワアトハキリバチ	<i>Megachile laecephala fukukawai</i>	●						●				環境省RL:DD
661			オオハキリバチ	<i>Megachile sculpturalis</i>	●						●				
合計	16目	158科		661種	292種	516種	54種	207種	410種	215種	569種	85種	58種		

注1：目録は基本的に「河川水辺の国勢調査生物種目録、2012、(財団法人リバーフロントセンター)」に準拠した。

注2：備考欄

環境省 RL：「環境省レッドリスト」(平成24年 環境省)の掲載種

・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足

長野県 RDB：「長野県版レッドデータブック-長野県の絶滅のおそれのある野生生物」(平成14年 長野県)の掲載種

・VU：絶滅危惧Ⅱ類 ・NT：準絶滅危惧 ・DD：情報不足 ・N：留意種

外来種：「侵入生物データベース 日本の外来種全種リスト (暫定版)、独立行政法人国立環境研究所 Homepage (<http://www.nies.go.jp>)」の掲載種を抽出

資料 11 陸産貝類確認種リスト

現地調査で確認された陸産貝類の確認種リストを示す。

表. 陸産類確認種リスト

目名	科名	種名	学名	対象事業実施区域		調査時期				備考
				内	外	春季	夏季	秋季	冬季	
マイマイ目	オカチョウジガイ科	オカチョウジガイ	<i>Allopeas clavulinum kyotoense</i>		●		●	●		
		トクサオカチョウジガイ	<i>Allopeas javanicum</i>		●	●				外来種
		ホソオカチョウジガイ	<i>Allopeas pyrgula</i>	●	●	●	●	●	●	
	パツラマイマイ科	パツラマイマイ	<i>Discus pauper</i>	●	●		●	●		
	コハクガイ科	ヒメコハクガイ	<i>Hawaii minuscula</i>	●	●	●		●	●	外来種
		コハクガイ	<i>Zonitoides arboreus</i>	●	●	●	●	●	●	外来種
	ナメクジ科	ヤマナメクジ	<i>Meghimatium fruhstorferi</i>		●		●			
	コウラナメクジ科	チャコウラナメクジ	<i>Limax marginatus</i>	●				●		外来種
	ベッコウマイマイ科	ヒメベッコウガイ	<i>Discoconulus sinapidym</i>	●	●	●	●			
		キビガイ	<i>Gastrodontella stenogyra</i>		●		●			
		ハリマキビ	<i>Parakaliella harimensis</i>	●		●	●			
	ニッポンマイマイ科	ニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica japonica</i>		●		●		●	
	オナジマイマイ科	ウスカワマイマイ	<i>Acusta despecta sieboldiana</i>	●	●	●	●	●	●	
		オナジマイマイ	<i>Bradybaena similaris</i>		●				●	外来種
		ミスジマイマイ	<i>Euhadra peliomphala peliomphala</i>	●			●			
1目	8科	15種		9種	12種	7種	11種	7種	6種	

注 1：目録は基本的に「河川水辺の国勢調査生物種目録、2005, (財団法人リバーフロントセンター)」に準拠した。

注 2：備考欄

外来種：「原色日本陸産貝類図鑑、1982, (保育社)」の外来種として掲載されている種を基本として抽出した。

**資料 12 注目すべき種予測影響評価一覧（工事による影響（建設作業））**

工事による注目すべき動物へ影響予測結果及び確認状況を種毎に示す。

**表. 注目すべき動物への工事による影響（建設作業）（1/7）**

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
哺乳類	カモシカ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全調査期間を通して調査範囲広範囲の樹林部において個体の目撃や糞が確認された。目撃例は多いものの、糞は多く確認されていないことから、調査範囲周辺での生息数は多くないと考えられる。対象事業区域内においても南西側のカラマツ林内において個体が目撃された。</li> </ul>
				<p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業実施区域内からも記録があるが、本州の利用域は周辺区域の山林が主である。</li> <li>・本種は対象事業実施区域内からも確認されているが、本種の行動圏は10～50haと広い。また、確認状況から主要な利用域は山林と考えられ、対象事業実施区域は利用域の一部であると考えられる。</li> <li>・工事の実施により、建設機械の稼働や作業員等を警戒して、対象事業実施区域内は工事中において利用しなくなるものと予測される。</li> <li>・ただし対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていることや、南側は近接する尾根が緩衝帯となることから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、周辺の主要な生息域に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>
鳥類	アオバト	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月(繁殖期)に3回、8月(夏季)に2回、9月(秋季)に1回確認があった。</li> <li>・対象事業実施区域の周辺で飛翔の記録中心に確認された。夏季には「さえずり」での確認が1回あった。</li> <li>・確認状況から、対象事業実施区域や周辺区域において繁殖の可能性が考えられたため、巣等の確認に努めたが、巣及び繁殖は確認されなかった。</li> </ul>
				<p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業実施区域内からも記録があるが、本州の利用域は周辺区域の山林が主である。</li> <li>・本種は対象事業実施区域内からも確認されているが、本種の行動圏は10～50haと広い。また、確認状況から主要な利用域は山林と考えられ、対象事業実施区域は利用域の一部であると考えられる。</li> <li>・工事の実施により、建設機械の稼働や作業員等を警戒して、対象事業実施区域内は工事中において利用しなくなるものと予測される。</li> <li>・ただし対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていることや、南側は近接する尾根が緩衝帯となることから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、周辺の主要な生息域に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ハリオアマツバメ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインセンサス法等による確認である。9月(秋季)に1回、飛翔による2個体の確認があった。</li> </ul>
				<p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、季節的な移動の際に周辺区域上空を通過したものであると考えられるため、工事による影響は無いものと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への工事による影響（建設作業）（2/7）

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
鳥類	ミサゴ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。H24年3月～8月までに2回確認された。2回の確認ともに対象事業実施区域上空を通過する確認であった。3月は年齢・性別ともに不明の記録が1回、7月は成鳥・性別不明の記録が1回確認された。いずれも飛翔のみの確認であった。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺上空は、通過の際の記録と考えられるため、工事による影響は無いものと予測される。</li> </ul>
	ハチクマ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。対象事業実施区域の周辺数百mの範囲内で5月に営巣が認められたが、6月に途中放棄が確認された。</li> <li>・定点観察調査では、5月～8月までの間に合計26回の確認があった。主な行動としては、餌の運搬、ディスプレイ・フライトなどが確認された。</li> <li>・8月には半径1kmの調査範囲外で繁殖したと考えられる飛翔能力のついた幼鳥が確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域で繁殖巣が確認されたが、対象事業実施区域と営巣地とは距離があること、対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていること、南側は近接する尾根が緩衝帯となることから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、本種の営巣地や生息に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ツミ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査でH24年2～8月に4回、ラインセンサス法等の調査で2回確認された。このうち対象事業実施区域内の樹林内で1回確認があった。主な行動としては、対象事業実施区域に隣接する鳥居平やまびこ公園からの餌の運搬や周辺区域西側の耕作地で狩り行動が確認されている。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査範囲内から営巣の確認はなく、調査結果から、耕作地や鳥居平やまびこ公園を狩り場等として利用していることが考えられる。</li> <li>・対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされており、南側は近接する尾根が緩衝帯となることから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、本種の生息に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ハイタカ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。H24年2～8月までの間に合計13回確認された。主な行動の確認は、威嚇行動のほか、捕食行動が確認された。また周辺区域の西側、南側、北側で捕食行動が確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査範囲を狩り場等としての利用していると考えられる。</li> <li>・対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていることや、南側は近接する尾根が緩衝帯となることから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、本種の生息に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への工事による影響（建設作業）（3/7）

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
鳥類	オオタカ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。H24年2～8月に合計12回確認された。主な行動は捕食行動が6回、停留行動が1回確認された。捕食行動である探餌や狩りは主に対象事業実施区域の北側の広いエリアで確認されたほか、調査範囲の西から南にかけて飛翔が確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査範囲内から営巣の確認はなく、主に狩り場としての利用が考えられる。調査では対象事業実施区域の北側エリアの広い範囲で捕食行動が確認されている。</li> <li>・対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていることや、南側は近接する尾根が緩衝帯となることから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、本種の生息に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	サシバ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査でH24年2～8月に7回、ラインセンサス法等の調査で9月(秋季)に1回確認された。</li> <li>・本種の確認は、春の渡り及び秋の渡りの時期のみである。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、季節的な移動の際に周辺区域上空を通過したものであると考えられるため、工事の振動及び騒音による影響は無いものと考えられる。</li> </ul>
	ノスリ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査でH24年2-8月に68回、ラインセンサス法等の調査で3回確認された。</li> <li>・主な行動は、交尾行動1回、ディスプレイ・フライト9回、その他、捕食行動14回、餌の運搬1回などの確認があった。</li> <li>・繁殖に係る行動等が確認されたため、巣等の確認に努めたが、調査範囲内からは巣や繁殖は確認されなかった。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査範囲内から営巣の確認はなく、飛翔が南西側で多数確認され、対象事業実施区域の周辺でも確認されている。</li> <li>・工事の実施により、対象事業実施区域の隣接地では利用頻度の低下が予測されるが、対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていること、南側は近接する尾根が緩衝帯となることなどから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、本種の生息に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	クマタカ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。確認は、動物調査範囲となっている対象事業実施区域周辺200m範囲では確認されず、ワシタカ類の調査範囲となる対象事業実施区域の周辺1km範囲においてのみ、H24年2月に成鳥・性別不明が1回確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺部は行動圏に含まれていないものと考えられる。そのため、影響は無いと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への工事による影響（建設作業）（4/7）

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
鳥類	フクロウ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワシタカ類調査及びフクロウ調査で確認された。対象事業実施区域の周辺約 1km 前後の場所で繁殖が確認された。この巣よりヒナ 1 羽の巣立ちを確認した。</li> <li>このほか、対象事業実施区域の東側隣接地の鳥居平やまびこ公園のさらに東側の樹林地で鳴き声が 3 月に 2 回、4 月に 1 回確認された。また、8 月のワシタカ類定点観察時には対象事業実施区域西側の尾根において飛翔が確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営巣場所は対象事業実施区域から約 1km 前後離れた場所にあることから、工事に伴う騒音・振動による営巣地の影響は無いと予測される。</li> <li>対象事業実施区域の西側と、鳥居平やまびこ公園の東側で確認されているが、本種の活動時間である夜間から早朝にかけては大きな騒音・振動の発生する作業は行われないことから、工事による影響は無いと予測される。</li> </ul>
	チョウゲンボウ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワシタカ類調査のみで確認された。確認は、動物調査範囲となっている対象事業実施区域周辺 200m 範囲では確認されず、ワシタカ類の調査範囲となる対象事業実施区域の周辺 1km 範囲においてのみ 1 回確認された。</li> <li>5 月に周辺区域南東側の尾根において飛翔する成鳥・雄が確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺部は行動圏に含まれていないものと考えられる。そのため、影響は無いと予測される。</li> </ul>
	ハヤブサ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワシタカ類調査のみで確認された。H24 年 2～8 月に 14 回確認された。本種の確認の多くは調査範囲南東側の鉄塔周辺であった。鉄塔に停留中、探餌行動が頻繁に確認されており、飛び立ってからの狩り行動も多く確認されている。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本種が主に確認された南東側の鉄塔は対象事業実施区域と 900m 以上離れていることや、対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていること、南側は近接する尾根が緩衝帯となることなどから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、本種の生息に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	サンショウクイ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 月(繁殖期)に 5 回、8 月(夏季)に 3 回の確認があった。6 月にはすべて対象事業実施区域東側の鳥居平やまびこ公園内での確認であった。そのうち、雌雄同時確認が 1 回、餌運びの行動が 1 回確認された。8 月には対象事業実施区域の周辺で確認されたが、飛翔や地鳴きによる確認であった。</li> <li>確認状況から、対象事業実施区域の周辺樹林において繁殖の可能性が考えられる。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ただし対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていることや、南側は近接する尾根が緩衝帯となることから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、本種の繁殖環境や生息に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への工事による影響（建設作業）（5/7）

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
鳥類	サンコウチョウ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月（春季）に1回、鳥居平やまびこ公園内の針葉樹林内で「さえずり」により確認された。</li> </ul> <p>【工事（建設作業）による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認場所は対象事業実施区域から150m以上離れていることや、対象事業実施区域は南を除く境界沿いに道路整備がされていること、南側は近接する尾根が緩衝帯となることなどから、工事に伴う騒音・振動の影響は対象事業実施区域の隣接地に限定されると考えられ、本種の生息に与える影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ノジコ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインセンサス法等による確認である。5月（春季）に2回、6月（繁殖期）に4回、8月（夏季）に1回の確認があった。</li> <li>・5月は対象事業実施区域内で「さえずり」と目視による確認があった。6月は対象事業実施区域の北側のカラマツ・ヒノキ植林内のみで確認された。このうち、雌雄同時の確認が1回あり、雄は「さえずり」での確認であった。</li> <li>・確認状況から、周辺区域において繁殖の可能性がある。</li> </ul> <p>【工事（建設作業）による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業実施区域と繁殖の可能性がある場所とは交通量のある県道で挟まれていること、現況の繁殖可能性箇所が針葉樹林内の谷部にあること、騒音・振動の主な発生源となる建築物の解体及び工事箇所が対象事業実施区域の南側にあり、北側よりも地盤レベルが低いこと等から、工事に伴う騒音・振動の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
両生類	モリアオガエル		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季調査で調査範囲北東側の道路脇草地において幼体が確認された。</li> <li>・調査範囲外の鳥居平やまびこ公園内の水域で繁殖しているものと考えられる。</li> </ul> <p>【工事（建設作業）による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認場所は対象事業実施区域から約100m離れていることから、工事に伴う騒音・振動による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
昆虫類	チッチゼミ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季に多数の個体を鳴き声等により、対象事業実施区域の内外で広く確認した。確認場所はいずれもアカマツやカラマツ林内であった。</li> </ul> <p>【工事（建設作業）による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である針葉樹林が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	アカスジキンカメムシ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季に周辺区域の鳥居平やまびこ公園内において1個体を確認した。落葉広葉樹のビーティング法によって得られたものである。</li> </ul> <p>【工事（建設作業）による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種が確認された鳥居平やまびこ公園内の生息環境が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への工事による影響（建設作業）（6/7）

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
昆虫類	スジグロチャバネセセリ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季に2個体が確認された。対象事業実施区域内と周辺区域では鳥居平やまびこ公園でそれぞれ1個体が確認されたが、いずれも草本類の花に訪花する個体であった。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息する林縁環境が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	オオムラサキ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季に周辺区域で3個体が確認された。確認はいずれも鳥居平やまびこ公園内であり、樹液で吸汁する2個体と、林縁部を飛翔する1個体が確認された。</li> <li>・幼虫の食樹となるエノキの確認に努めたが、確認木は本種の繁殖木として利用していないと考えられる幼木のみであった。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である広葉樹を主体とする樹林環境や、樹液の吸汁が確認された鳥居平やまびこ公園の環境が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	オナガミズアオ	●		<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間、対象事業実施区域内の外灯に誘引されてきた個体を春季に1個体、夏季に1個体(合計2個体)を確認した。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種は対象事業実施区域内のみから確認されているが、対象事業実施区域内には本種の食樹はなく、周辺で繁殖した個体が外灯に飛来したものと考えられる。</li> <li>・工事に伴う騒音・振動により、周辺の樹林環境が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	ナガヒラタムシ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のアカマツ林内から1個体が確認された。確認は樹林内の倒木の樹皮下からであった。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である樹林が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	マエモンシデムシ	●		<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のカラマツ林内に設置したボックスライトによって春季に2個体が確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である樹林が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	ヤマトタムシ	●		<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域の鳥居平やまびこ公園内を飛翔する1個体が夏季に目視確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である樹林環境や鳥居平やまびこ公園の環境が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への工事による影響（建設作業）（7/7）

分類群	種名	対象事業 実施区域		影響予測
		内	外	
昆虫類	ジュウロクホ シテントウ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のアカマツ林の林縁部でのビーティング法によって1個体を夏季に確認した。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である針葉樹林が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	ミドリオオキ スイ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域である鳥居平やまびこ公園内のハルニレでのビーティング法により、夏季に1個体が確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種が確認された鳥居平やまびこ公園の生息環境が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	カタビロハム シ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のアカマツ林内の林道において春季に1個体を確認した。林道沿いの低木で行ったビーティング法により確認された。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である樹林が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	ニトベギンゲ チ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域において夏季に1個体が確認された。カラマツ林の林縁の草本類の花に訪花している個体を確認した。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である樹林や、吸蜜植物の生育環境が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>
	フルカワフト ハキリバチ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域において夏季に1個体が確認された。林道沿いの草本類の花に訪花している個体を確認した。</li> </ul> <p>【工事(建設作業)による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に伴う騒音・振動により、本種の生息環境である樹林や、吸蜜植物の生育環境が影響を受けることはないことから、工事による生息への影響は無いと予測される。</li> </ul>

資料 13 注目すべき種予測影響評価一覧（存在・供用における影響（夜間照明等））

存在・供用時における注目すべき動物への影響予測結果及び確認状況を種毎に示す。

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響（1/11）

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
哺乳類	カモンカ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全調査期間を通して調査範囲広範囲の樹林部において個体の目撃や糞が確認された。目撃例は多いものの、糞は多く確認されていないことから、調査範囲周辺での生息数は多くないと考えられる。対象事業区域内においても南西側のカラマツ林内において個体が目撃された。</li> </ul>
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>
鳥類	アオバト	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月（繁殖期）に3回、8月（夏季）に2回、9月（秋季）に1回確認があった。</li> <li>・対象事業実施区域の周辺で飛翔の記録中心に確認された。夏季には「さえざり」での確認が1回あった。</li> <li>・確認状況から、対象事業実施区域や周辺区域において繁殖の可能性が考えられたため、巣等の確認に努めたが、巣及び繁殖は確認されなかった。</li> </ul>
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>
	ハリオアマツバメ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインセンサス法等による確認である。9月（秋季）に1回、飛翔による2個体の確認があった。</li> </ul>
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の稼働に伴う振動及び騒音は、対象事業実施区域とその周辺の利用に影響を及ぼす程度で無いことから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響（2/11）

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
鳥類	ミサゴ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。H24年3月～8月までに2回確認された。2回の確認ともに対象事業実施区域上空を通過する確認であった。3月は年齢・性別ともに不明の記録が1回、7月は成鳥・性別不明の記録が1回確認された。いずれも飛翔のみの確認であった。</li> </ul>
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺上空は、通過の際の記録と考えられる。そのため、影響は無いものと考えられる。</li> </ul>
				<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺上空は、通過の際の記録と考えられる。そのため、影響は無いものと予測される。</li> </ul>
	ハチクマ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。対象事業実施区域の周辺数百mの範囲内で5月に営巣が認められたが、6月に途中放棄が確認された。</li> <li>・定点観察調査では、5月～8月までの間に合計26回の確認があった。主な行動としては、餌の運搬、ディスプレイ・フライトなどが確認された。</li> <li>・8月には半径1kmの調査範囲外で繁殖したと考えられる飛翔能力のついた幼鳥が確認された。</li> </ul>
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>
				<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で 사용되는照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ツミ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査でH24年2～8月に4回、ラインセンサス法等の調査で2回確認された。このうち対象事業実施区域内の樹林内で1回確認があった。主な行動としては、対象事業実施区域に隣接する鳥居平やまびこ公園からの餌の運搬や周辺区域西側の耕作地で狩り行動が確認されている。</li> </ul>
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>
				<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で 사용되는照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (3/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測	
		内	外		
鳥類	ハイタカ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。H24年2～8月までの間に合計13回確認された。主な行動の確認は、威嚇行動のほか、捕食行動が確認された。また周辺区域の西側、南側、北側で捕食行動が確認された。</li> </ul>	
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	オオタカ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。H24年2～8月に合計12回確認された。主な行動は捕食行動が6回、停留行動が1回確認された。捕食行動である探餌や狩りは主に対象事業実施区域の北側の広いエリアで確認されたほか、調査範囲の西から南にかけて飛翔が確認された。</li> </ul>	
		●	●	<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の稼働に伴う振動及び騒音は、対象事業実施区域とその周辺の利用に影響を及ぼす程度で無いことから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	サシバ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査でH24年2～8月に7回、ラインセンサス法等の調査で9月(秋季)に1回確認された。</li> <li>・本種の確認は、春の渡り及び秋の渡りの時期のみである。</li> </ul>	
		●	●	<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の稼働に伴う振動及び騒音は、対象事業実施区域とその周辺の利用に影響を及ぼす程度で無いことから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、季節的な移動の際に周辺区域上空を通過したものであると考えられるため、影響は無いものと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (4/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測	
		内	外		
鳥類	ノスリ	●	●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査で H24 年 2-8 月に 68 回、ラインセンサス法等の調査で 3 回確認された。</li> <li>・主な行動は、交尾行動 1 回、ディスプレイ・フライト 9 回、その他、捕食行動 14 回、餌の運搬 1 回などの確認があった。</li> <li>・繁殖に係る行動等が確認されたため、巣等の確認に努めたが、調査範囲内からは巣や繁殖は確認されなかった。</li> </ul>	
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	クマタカ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査のみで確認された。確認は、動物調査範囲となっている対象事業実施区域周辺 200m 範囲では確認されず、ワシタカ類の調査範囲となる対象事業実施区域の周辺 1km 範囲においてのみ、H24 年 2 月に成鳥・性別不明が 1 回確認された。</li> </ul>	
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺部は行動圏に含まれていないものと考えられる。そのため、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺部は行動圏に含まれていないものと考えられる。そのため、影響は無いものと予測される。</li> </ul>
	フクロウ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシタカ類調査及びフクロウ調査で確認された。対象事業実施区域の周辺約 1km 前後の場所で繁殖が確認された。この巣よりヒナ 1 羽の巣立ちを確認した。</li> <li>・このほか、対象事業実施区域の東側隣接地の鳥居平やまびこ公園のさらに東側の樹林地で鳴き声が 3 月に 2 回、4 月に 1 回確認された。また、8 月のワシタカ類定点観察時には対象事業実施区域西側の尾根において飛翔が確認された。</li> </ul>	
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (5/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測	
		内	外		
鳥類	チョウゲンボウ		●	<b>【確認状況】</b> ・ワシタカ類調査のみで確認された。確認は、動物調査範囲となっている対象事業実施区域周辺 200m範囲では確認されず、ワシタカ類の調査範囲となる対象事業実施区域の周辺 1km 範囲においてのみ 1 回確認された。 ・5 月に周辺区域南東側の尾根において飛翔する成鳥・雄が確認された。	
				<b>【焼却施設の稼働による影響】</b> ・本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺部は行動圏に含まれていないものと考えられる。そのため、影響は無いものと予測される。	<b>【夜間の照明等による影響】</b> ・本種の確認状況から、対象事業実施区域とその周辺部は行動圏に含まれていないものと考えられる。そのため、影響は無いものと予測される。
	ハヤブサ	●	●	<b>【確認状況】</b> ・ワシタカ類調査のみで確認された。H24 年 2～8 月に 14 回確認された。本種の確認の多くは調査範囲南東側の鉄塔周辺であった。鉄塔に停留中、探餌行動が頻繁に確認されており、飛び立ってからの狩り行動も多く確認されている。	
				<b>【焼却施設の稼働による影響】</b> ・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。	<b>【夜間の照明等による影響】</b> ・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。 ・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。
	サンショウクイ		●	<b>【確認状況】</b> ・6 月(繁殖期)に 5 回、8 月(夏季)に 3 回の確認があった。6 月にはすべて対象事業実施区域東側の鳥居平やまびこ公園内での確認であった。そのうち、雌雄同時確認が 1 回、餌運びの行動が 1 回確認された。8 月には対象事業実施区域の周辺で確認されたが、飛翔や地鳴きによる確認であった。 ・確認状況から、対象事業実施区域の周辺樹林において繁殖の可能性が考えられる。	
				<b>【焼却施設の稼働による影響】</b> ・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。	<b>【夜間の照明等による影響】</b> ・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。 ・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (6/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
鳥類	サンコウチョウ			<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月(春季)に1回、鳥居平やまびこ公園内の針葉樹林内で「さえぎり」により確認された。</li> </ul>
		●		<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ノジコ			<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライセンス法等による確認である。5月(春季)に2回、6月(繁殖期)に4回、8月(夏季)に1回の確認があった。</li> <li>・5月は対象事業実施区域内で「さえぎり」と目視による確認があった。6月は対象事業実施区域の北側のカラマツ・ヒノキ植林内のみで確認された。このうち、雌雄同時の確認が1回あり、雄は「さえぎり」での確認であった。</li> <li>・確認状況から、周辺区域において繁殖の可能性がある。</li> </ul>
		●	●	<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
両生類	モリアオガエル			<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季調査で調査範囲北東側の道路脇草地において幼体を確認された。</li> <li>・調査範囲外の鳥居平やまびこ公園内の水域で繁殖しているものと考えられる。</li> </ul>
		●		<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (7/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
昆虫類	チッチゼミ	●	●	【確認状況】 ・秋季に多数の個体を鳴き声等により、対象事業実施区域の内外で広く確認した。確認場所はいずれもアカマツやカラマツ林内であった。
				【焼却施設の稼働による影響】 ・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。
	アカスジキンカメムシ	●	【確認状況】 ・夏季に周辺区域の鳥居平やまびこ公園内において1個体を確認した。落葉広葉樹のビーティング法によって得られたものである。	
【焼却施設の稼働による影響】 ・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。	【夜間の照明等による影響】 ・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。 ・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。			
スジグロチャバネセセリ	●	●	【確認状況】 ・夏季に2個体が確認された。対象事業実施区域内と周辺区域では鳥居平やまびこ公園でそれぞれ1個体が確認されたが、いずれも草本類の花に訪花する個体であった。	
			【焼却施設の稼働による影響】 ・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。	【夜間の照明等による影響】 ・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。 ・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (8/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
昆虫類	オオムラサキ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季に周辺区域で3個体が確認された。確認はいずれもやまびこ公園内であり、樹液で吸汁する2個体と、林縁部を飛翔する1個体が確認された。</li> <li>・幼虫の食樹となるエノキの確認に努めたが、確認した木は本種の幼虫が利用していないと考えられる幼木のみであった。</li> </ul> <p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	オナガミズアオ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間、対象事業実施区域内の外灯に誘引されてきた個体を春季に1個体、夏季に1個体(合計2個体)を確認した。</li> </ul> <p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の稼働に伴う振動及び騒音は、対象事業実施区域とその周辺の利用に影響を及ぼす程度で無いことから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春季・夏季ともに現施設の外灯に誘引されてきた個体を確認しているため、新施設の夜間照明に一部の個体が誘引されると予測される。</li> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。また夜間、窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ナガヒラタムシ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のアカマツ林内から1個体が確認された。確認は樹林内の倒木の樹皮下からであった。</li> </ul> <p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認場所は対象事業実施区域の境界から直線で100m以上離れているが、灯火に飛来する習性を持つことから、夜間の照明等により影響を及ぼす可能性があるとして予測される。</li> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。また夜間、窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (9/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測	
		内	外		
昆虫類	マエモンシデムシ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のカラマツ林内に設置したボックスライトによって春季に2個体が確認された。</li> </ul>	
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認場所は対象事業実施区域の境界から直線で100m以上離れているが、灯火に飛来する習性を持つことから、夜間の照明等により影響を及ぼす可能性があるとして予測される。</li> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。また夜間、窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ヤマトタマムシ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のやまびこ公園内を飛翔する1個体が夏季に目視確認された。</li> </ul>	
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ジュウロクホシテントウ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のアカマツ林の林縁部でのビーティング法によって1個体を夏季に確認した。</li> </ul>	
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>	<p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (10/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
昆虫類	ミドリオオクスイ			<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域であるやまびこ公園内のハルニレでのピーティング法により、夏季に1個体が確認された。</li> </ul>
		●		<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
				<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のアカマツ林内の林道において春季に1個体を確認した。林道沿いの低木で行ったピーティング法により確認された。</li> </ul>
	カタビロハムシ			<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域のアカマツ林内の林道において春季に1個体を確認した。林道沿いの低木で行ったピーティング法により確認された。</li> </ul>
		●		<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>
	ニトベギングチ			<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域において夏季に1個体が確認された。カラマツ林の林縁の草本類の花に訪花している個体を確認した。</li> </ul>
		●		<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul> <p>【夜間の照明等による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間照明に関する具体的な計画内容は現在未定となっているが、建物外部で使用される照明機器は昆虫類の誘引効果の低い性質を持つナトリウムランプ等の採用や、集光性のあるものの採用が想定されている。</li> <li>・建物内からの灯りは、夜間において窓はカーテン等で締め切るため屋内照明の漏洩は殆ど無い。以上のことから、存在・供用時における夜間照明の影響は小さいと予測される。</li> </ul>

表. 注目すべき動物への存在・供用時における影響 (11/11)

分類群	種名	対象事業実施区域		影響予測
		内	外	
昆虫類	フルカワフトハキリバチ		●	<p>【確認状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺区域において夏季に1個体が確認された。林道沿いの草本類の花に訪花している個体を確認した。</li> </ul>
				<p>【焼却施設の稼働による影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現施設が稼働する環境下で確認されていることや、施設の稼働に伴う騒音及び振動は、現施設のレベルを超えない計画であることから、影響は無いものと予測される。</li> </ul>

資料 14 有識者ヒアリング結果（猛禽類調査結果）

環境影響評価準備書作成業務打合せ記録簿

第5回					追番	2-1	頁
委託者・印	事務局長	課長	係長	監督員	受託者・印	管理技術者	担当技術者
委託者	湖周行政事務組合			受託者	国際航業株式会社		
件名	湖周地区ごみ処理施設整備に係る環境影響評価準備書作成業務						
出席者	委託者側	笠原局長、伊藤課長、山田主査		日時	平成24年7月5日(木) 15:30~16:30		
	受託者側	児玉		場所	塩嶺閣		
				打合せ方式	会議/電話/その他		
<p>1. 参加者            岡谷市塩嶺・小鳥の森コーディネーター、日本野鳥の会諏訪会長：林正敏先生            湖周行政事務組合：笠原局長、伊藤課長、山田主査            国際航業株式会社（以下「国際」）：児玉</p> <p>2. 提出資料            ・「湖周地区ごみ処理施設整備に係る環境影響評価準備書作成業務 現地調査 猛禽類調査結果速報（2～6月）」</p> <p>3. 協議内容            (1) これまでの調査結果について（国際）            提出資料に基づき、これまでの調査結果の概要について説明を行った。            (2) 頂いたアドバイスの概要について            ・ハチクマの巣は頑丈であり、複数年度でみると、同じ巣をハチクマ、ノスリ、トビ、フクロウが毎年使い回している事例が他の地域であった。            ・今年、繁殖が見られなかった原因として、速報に4つ挙げられているが、③番目の「まず、フクロウがノスリの巣を奪い、巣がなくなったノスリがハチクマの巣をめぐってハチクマとノスリで争った結果」の可能性が高い。②の山菜取りはよほど頻繁に人の立ち入りがない限り、その可能性は低い。            ・フクロウがノスリの巣を奪った可能性は高い。これはフクロウの営巣木（大木の樹洞等）が減少している証拠である。            ・ハチクマの巣と思われる巣が落巢しそうな状況でなければ、来年度は使用するであろう。但し、その種類はわからない。            ・調査範囲外であるが、事業予定地北西 600m 程度の塩嶺高原別荘地の尾根手前にフクロウの営巣を確認している。なお、調査範囲内には、特に猛禽類の繁殖は確認していない。            ・この地域一帯は、アオバトの集団生息地（100羽程度）となっている。この種は桜の木の実等の果実を食用としており、海水を飲む習性がある。生息地では最終処分場の処理水を飲んでいるようである。なお、グリーン色の羽色の個体であり、巣を見つけるのは難しい。            ・調査は、十分実施されており、可能性のある種は全て確認されている。特に、注文をつけることはない。今後もこの調査方法を続けてよい。            ・環境アセスにおける猛禽類の予測・評価は、現在、事業予定地周辺では、既存の清掃工場が稼働しており、既にこれらからの環境インパクト（施設の稼働や廃棄物運搬車両の走行等）を受けている。今後、新施設が稼働した場合においても現状と同等あるいはそれ以上に良好な環境が維持されると予想されるため、これらへの影響は少ないと考える。また、予測・評価は、今年度調査結果をもとに行うことで問題ない。但し、速報に記載されているように、工事中における環境配慮は重要なことから、適宜、適切な対応を図って頂きたい。</p>							

以上